

番号	文化財類型	種別	名称	員数	時代	地区	備考	出典
1	有形文化財	建造物	竹内家住宅洋館（旧淡海銀行石部支店）	1	昭和2年（1927年）	石部	昭和2年淡海銀行として建設されたが、昭和40年銀行移転後、住宅に転用された。	滋賀県の近代化遺産（P. 87）
2	有形文化財	建造物	竹内酒造（株）酒倉	1	明治初期	石部		滋賀県の近代化遺産（P. 250）
3	有形文化財	建造物	西福寺本堂	1	18世紀中期建築	石部	19世紀中ごろに改築していると思われる。	滋賀県の近世社寺建築（P. 229）
4	有形文化財	建造物	浄現寺本堂	1	江戸時代中期	石部		滋賀県の近世社寺建築（P. 64）
5	有形文化財	建造物	服部絢夫家	1	18世紀後期（推定）	石部	桁行7.6m、梁間8.8m、つし二階建、切妻造、本瓦葺、平入。旧東海道石部宿の中央に位置し、街道に面して中央に主屋、東に土蔵、西は門と板塀の内を庭とする。敷地北半には文庫蔵と土蔵がある。江戸時代には酒造業を営んだ。	滋賀県の近世民家（P. 147）
6	有形文化財	建造物	吉姫神社	1		石部	式内社である石部鹿塩上神社の後身とされる神社である。	新修石部町史　通史編(P. 103)
7	有形文化財	建造物	川崎神社	1		石部	川ないし水に対する信仰を宿した神社である。	新修石部町史　通史編(P. 104)
8	有形文化財	建造物	真明寺	1	慶長2年（1597年）	石部	青木氏を外護者として建立された寺である。寺地は青木右衛門佐の居館跡であるという伝承がある。	新修石部町史　通史編(P. 242)
9	有形文化財	建造物	宝篋印塔		文化9年（1812年）	石部		石部・善隆寺墓地の調査（P. 24）
10	有形文化財	建造物	吉御子神社			石部		改訂　湖南省都市計画マスタープラン（P. 70）
11	有形文化財	建造物	善隆寺			石部		改訂　湖南省都市計画マスタープラン（P. 70）
12	有形文化財	彫刻	阿弥陀如来立像	1	平安末期～鎌倉	石部		新修石部町史　通史編(P. 121)
13	有形文化財	彫刻	聖観音立像	1	鎌倉時代初期	石部		新修石部町史　通史編(P. 179)
14	有形文化財	工芸品	銅鈴	1部	天文24年（1555）	石部	銅鈴を用いて神樂が奉納されていたと考えられる。	新修石部町史　通史編(P. 254)
15	有形文化財	工芸品	狛犬（阿・吽）	一対		石部		新修石部町史　通史編(P. 184)
16	有形文化財	書跡	蓮乗寺棟札	1	近世	石部		新修石部町史　通史編(P. 231)
17	有形文化財	古文書	吉御子神社文書			石部	神社由緒書のほか、明治から昭和にいたる行事記録がある。	石部町の文学（P. 84）
18	有形文化財	古文書	吉姫神社文書			石部	神社誌のほか、昭和33年に行われた宮ノ森古墳調査記録などがある。	石部町の文学（P. 84）
19	有形文化財	考古資料	鉄斧	1	古墳時代後期	石部	柿ヶ沢古墳群より出土した。	新修石部町史　通史編(P. 45)
20	有形文化財	考古資料	檜状鉄器	1	古墳時代後期	石部	柿ヶ沢古墳群より出土した。	新修石部町史　通史編(P. 45)
21	有形文化財	考古資料	愛宕社の屋根瓦	2	江戸時代	石部	上横町の愛宕社の瓦には風景の文様が刻まれている。	新修石部町史　通史編(P. 406)、石部町の文学（P. 79）
22	有形文化財	考古資料	瓦		文政13年（1830年）	石部	本堂の棟にのせられていた瓦である。	石部・善隆寺墓地の調査（P. 24）
23	有形文化財	歴史資料	浄瑠璃興行口上	1		石部	浄現寺講中が世話方となって、浄現寺本堂で浄瑠璃を3日間催す旨を記した案内書である。	新修石部町史　通史編(P. 335)
24	有形文化財	歴史資料	芭蕉句碑	1	江戸時代	石部		新修石部町史　通史編(P. 483)、淡海の芭蕉句碑上(P. 63)
25	有形文化財	歴史資料	善隆寺墓地内最古の墓標	1	慶長7年（1602年）	石部		石部・善隆寺墓地の調査（P. 19）
26	有形文化財	歴史資料	墓標			石部	三大寺本陣の祖となった夫婦の墓である。	石部・善隆寺墓地の調査（P. 20）
27	有形文化財	歴史資料	六字名号碑		嘉永7年（1854年）	石部	台石に「無縁供養塔」「国家安穩」と刻まれている。	石部・善隆寺墓地の調査（P. 24）
28	有形文化財	歴史資料	石部町鹿塩山之細図		明治時代	石部		石部町のあゆみ(P. 15)
29	有形文化財	歴史資料	服部末石亭の鉱物・化石・岩石コレクション		江戸時代中期	石部	個人所有。木内石亭の弟子として当時収集に努めていた。	服部末石亭の鉱物・化石・岩石コレクションー江戸時代近江石部の弄石家一、企画展石の長者・木内石亭
30	有形文化財	歴史資料	旅籠　八幡屋資料群		江戸時代	石部	個人所有。石部宿の旅籠の一つ「八幡屋」の建物に関する資料群。家屋：棟札・天保二年、鬼瓦・天保二年、軒先瓦・江戸時代、八幡屋の版木文化財：八角形の掛け時計、照明器具（灯籠、提灯、行灯）、食器類、楽器類（三味線、琵琶太鼓）、伊勢参りの看板等（伊勢講、浪花講）27枚、宿帳・帳簿・書簡等	
31	有形文化財	歴史資料	遠藤亮規関係文書		江戸時代	石部	八石教会の大原幽学の後継者・遠藤亮規の文書類（明治6年八幡屋で死去）	
32	有形文化財	歴史資料	鬼瓦			石部		新修石部町史　通史編(P. 548)
33	有形文化財	歴史資料	米屋仲間鑑札	1		石部	膳所藩会計方より公認の米屋仲間に与えられたものである。	新修石部町史　通史編(P. 434)
34	有形文化財	歴史資料	草津柘植間汽車発着時刻及賃金表	1		石部	関西鉄道開通2か月後に小島運送店が作成配布したと思われる時刻表である。	新修石部町史　通史編(P. 602)
35	有形文化財	歴史資料	預金通帳（甲賀銀行石部支店　小口当座預金受拂通帳）			石部		新修石部町史　通史編(P. 638)
36	有形文化財	歴史資料	貯蓄奨励法広告		明治34年（1901年）	石部		新修石部町史　通史編(P. 645)
37	有形文化財	歴史資料	衣料切符			石部		新修石部町史　通史編(P. 652)

38	有形文化財	歴史資料	琵琶湖新聞附録			石部		石部町のあゆみ (P. 48)
39	民俗文化財	有形の民俗文化財	売薬ちらし用版本			石部		新修石部町史 通史編 (P. 476)
40	民俗文化財	有形の民俗文化財	手水石		安政3年（1856年）	石部		石部・善隆寺墓地の調査（P. 24）
41	民俗文化財	無形の民俗文化財	西福寺尼講			石部		湖南に生きる 輝き続ける女性たち（P. 142）
42	民俗文化財	無形の民俗文化財	酒屋唄			石部	酒を造るいくつかの過程を、働く者の心情を中心に唄われている。	石部の民謡 (P. 6)、石部の伝承（P. 84）
43	民俗文化財	無形の民俗文化財	味噌搗き唄		江戸時代	石部	貴族が食していた貴重な味噌を平民が口にできるようになった喜びをうたった唄である。	石部の民謡 (P. 7)、石部の伝承（P. 85）
44	民俗文化財	無形の民俗文化財	宿場子守唄			石部	東海道五十三次の宿場が繁盛した頃、石部の宿で唄われるようになった唄である。	石部の民謡 (P. 8)、石部の伝承（P. 88）
45	民俗文化財	無形の民俗文化財	もり唄			石部		石部の民謡 (P. 9)、石部の伝承（P. 89）
46	民俗文化財	無形の民俗文化財	愛宕祭り		江戸時代	石部	毎年7月23日、24日に行われ、愛宕神社にお参りし、防火を願うお祭り。江戸時代中期から今日まで継続している。石部地区では15箇所の神社が存在しており提灯行列なども行っている。最近はお祭りの継続を願い、スタンプラリーなども行っている	
47	記念物	史跡	五軒茶屋火山灰層の採掘跡		第四紀層	石部	175万年前の火山灰層である。古琵琶湖層群の火山灰層採掘地として大規模なものである。磨き砂など製品として販売。	琵琶湖博物館研究調査報告No.26（P. 96付箋あり）
48	記念物	史跡	石灰岩採石跡		ジュラ紀	石部	江戸時代から戦前にかけて採掘され、石灰の原料として利用。昭和40年以降は採石場。現在は終了。	新修石部町史 通史編 (P. 11)、近江の平成雲根志―鉱山・鉱物・奇石―、石部の灰山（解説パンフレット）
49	記念物	史跡	石部金山の磁鉄鉱等採掘地跡		江戸時代～戦時中まで	石部	磁鉄鉱や磁硫鉄鋼が採掘された。戦時中の採掘坑道が残っている。	琵琶湖博物館研究調査報告（P. 201付箋あり）
50	記念物	史跡	小島本陣（址）		江戸時代	石部	明治天皇聖蹟（石碑）および東海道石部宿「石部本陣跡」（石碑）	新修石部町史 通史編 (P. 546)、石部町のあゆみ (P. 23)、
51	記念物	史跡	蓮乗寺遺跡		弘仁年間創建か	石部		石部町のあゆみ (P. 9)
52	記念物	史跡	問屋場跡			石部		石部町のあゆみ (P. 20)
53	記念物	史跡	常盤館跡			石部	建物は二階建て、正面八間、側面十四間であった。大正8年に火災で焼失した。	石部町の文学 (P. 63)
54	記念物	史跡	石部郵便局舎跡		明治初期	石部		石部町のあゆみ (P. 40)
55	記念物	天然記念物	灰山の鍾乳洞		ジュラ紀	石部		石部町の文学（P. 82）、近江の平成雲根志―鉱山・鉱物・奇石―、石部の灰山（解説パンフレット）
56	記念物	天然記念物	灰山のスカルン鉱物			石部	黄銅鉱、孔雀石、菁鉛鉱、灰鉄輝鉱	近江の平成雲根志―鉱山・鉱物・奇石―
57	その他の文化財	人物の功績に関するもの	安民米記念碑	1	明治35年（1902年）	石部	安民米制度を創設した服部善七の功績をたたえた記念碑である。	新修石部町史 通史編 (P. 532)、石部町のあゆみ (P. 36)

番号	文化財類型	種別	名称	員数	時代	地区	備考	出典
1	有形文化財	建造物	十王寺石積			石部南		滋賀県の近代化遺産（P. 250）
2	有形文化財	建造物	長寿寺庫裡	1		石部南		滋賀県の近代化遺産（P. 250）
3	有形文化財	建造物	常楽寺庫裡	1	昭和5年（1930）8月	石部南		滋賀県の近代化遺産（P. 250）
4	有形文化財	建造物	常楽寺石橋と石積	1		石部南		滋賀県の近代化遺産（P. 250）
5	有形文化財	建造物	竹内淳一郎	1	江戸時代か	石部南	長屋門（門の両袖が長屋になっている）。桁行16.0m、梁間7.9m、平屋建、入母屋造、茅葺、平入。東に長屋門、長屋門に接続して納屋、北は小門を伴う小屋に囲まれた前庭があり、東面して主屋が建つ。主屋南半に前載を造る。主屋北には離れがあり、その西に土蔵が並ぶ。主屋南側の増築は昭和40年代、主屋北側の増築は平成4年で、同時に葺屋根を葺き替えた。	滋賀県の近代化遺産（P. 250）、新修石部町史 通史編(P. 295)、滋賀県の近世民家（P. 148）
6	有形文化財	建造物	三聖神社	1		石部南	常楽寺の鎮守社となっている。創立年代は不明だが、社殿は江戸時代の築造と推定される。	新修石部町史 通史編(P. 104)
7	有形文化財	建造物	門柱	一対	明治時代	石部南	明治初期の警察署で使用されていたものである。	石部町の文学（P. 83）
8	有形文化財	建造物	石燈籠			石部南	常楽寺の山門前にある石燈籠である。	西寺の昔と今（P. 19）
9	有形文化財	建造物	白山神社			石部南		改訂 湖南市都市計画マスタープラン（P. 74）
10	有形文化財	建造物	八石教会再現建物		平成2年	石部南	石部八石教会を再現した建物	
11	有形文化財	絵画	長寿寺十二天（梵天）像（絵画）			石部南		新修石部町史 通史編(P. 183)
12	有形文化財	絵画	人足と馬（東海道五十三次内）	1	江戸時代	石部南		新修石部町史 通史編(P. 411)
13	有形文化財	絵画	華頂禅師画像		江戸時代	石部南		新修石部町史 通史編(P. 494)
14	有形文化財	絵画	絹本著色地藏曼荼羅図			石部南		湖南地方の文化財№.1（目次）
15	有形文化財	絵画	絹本著色十王図			石部南		湖南地方の文化財№.1（目次）、湖南地方の文化財№.2（P. 18）
16	有形文化財	彫刻	地藏菩薩石仏	2		石部南	鎌倉時代の様式が見られる。	石部町の文学（P. 79）
17	有形文化財	彫刻	絹本著色十二天像			石部南		湖南地方の文化財№.1（目次）、湖南地方の文化財№.2（P. 17）
18	有形文化財	彫刻	絹本著色釈迦十六善神像			石部南		湖南地方の文化財№.1（目次）
19	有形文化財	彫刻	木造持国天・多聞天立像	1式		石部南		湖南地方の文化財№.2(P. 97)
20	有形文化財	彫刻	木造 大黒天立像	1	室町時代	石部南		湖南地方の文化財№.2(P. 101)
21	有形文化財	彫刻	木造 聖徳太子立像	1	室町時代	石部南		湖南地方の文化財№.2(P. 101)
22	有形文化財	彫刻	石地藏立像	2体		石部南		近江の石造遺品（下）P. 313
23	有形文化財	彫刻	飛天の欄間			石部南	青木徳太郎製作	香雪 彫り刻む（P. 52）
24	有形文化財	彫刻	神像（白山神社）		江戸時代	石部南		特別展近江社寺シリーズ第二回展甲賀の社寺
25	有形文化財	工芸品	近江下田焼		江戸時代後期（1750年頃）	石部南		滋賀の伝統工芸品、甲西町誌（P. 236）
26	有形文化財	工芸品	長押の檜			石部南		西寺の昔と今（P. 77）
27	有形文化財	工芸品	柄香炉	1	室町時代	石部南	鋳銅製である。	新修石部町史 通史編(P. 255)、湖南地方の文化財№.2(P. 101)
28	有形文化財	工芸品	金銅磬		鎌倉時代	石部南		湖南地方の文化財№.2(P. 111)
29	有形文化財	典籍	細字法華経			石部南		湖南地方の文化財№.1（目次）、湖南地方の文化財№.2(P. 40)
30	有形文化財	古文書	佐々木導誉書状（長寿寺文書）	1	暦応元年か	石部南		新修石部町史 通史編(P. 152)
31	有形文化財	古文書	平宗氏寄進状（長寿寺文書）	1		石部南		新修石部町史 通史編(P. 158)
32	有形文化財	古文書	東寺村・西寺村文書	約2000		石部南	長寿寺・常楽寺に関するもののほか、隣村との境界争いに関するもの、「年貢割付、皆済上」と呼ばれるものがある。	石部町の文学（P. 84）
33	有形文化財	考古資料	土師器小皿	2	古墳時代後期	石部南		新修石部町史 通史編(P. 45～51)、近江の考古学黎明期（P. 40）、石部町のあゆみ(P. 6)
34	有形文化財	考古資料	黒色土器碗	2	古墳時代後期	石部南		新修石部町史 通史編(P. 45～51)、近江の考古学黎明期（P. 40）、石部町のあゆみ(P. 6)
35	有形文化財	考古資料	瓦器碗	2	古墳時代後期	石部南		新修石部町史 通史編(P. 45～51)、近江の考古学黎明期（P. 40）、石部町のあゆみ(P. 6)
36	有形文化財	考古資料	埴輪	1式	古墳時代中期	石部南	宮の森古墳から出土した埴輪である。復元できるものはないが、20本以上が出土している。	石部町の100年史（P. 10）
37	有形文化財	考古資料	宮の森古墳の鉄器		5世紀ごろ	石部南		石部町のあゆみ(P. 5)
38	有形文化財	歴史資料	竜王碑	1		石部南		新修石部町史 通史編(P. 53～54)

39	有形文化財	歴史資料	江州甲賀郡東寺村田畠地改帳	1	延宝 2 年（1674年）	石部南		新修石部町史 通史編(P. 302)
40	有形文化財	歴史資料	宿帳と宿帳収納箱	1		石部南	小島本陣の宿帳を収納する専用の木箱である。	新修石部町史 通史編(P. 382)
41	有形文化財	歴史資料	商人衆定宿看板	1		石部南		新修石部町史 通史編(P. 390)
42	有形文化財	歴史資料	浪花講定宿帳	1		石部南	浪花講指定の旅籠の紹介の他、旅行するにあたっての心得などが記されている。	新修石部町史 通史編(P. 391)
43	有形文化財	歴史資料	国定教科書		明治38年	石部南		新修石部町史 通史編(P. 630)
44	有形文化財	歴史資料	東寺圍場整備記念碑			石部南	「沃野拓千載」と刻まれている。	石部町の100年史（P37）
45	有形文化財	歴史資料	戦死者の慰霊碑			石部南		西寺の昔と今（P. 99）
46	有形文化財	歴史資料	八石教会関連石碑 明治戊子一件記念之碑		明治28年 8 月	石部南	明治21年43名の門人が時の役人に収監され、その後解放された記念碑。43名の名前と事の顛末が詳細に記述されている。	
47	有形文化財	歴史資料	幽学の碑		明治時代	石部南	三段重ねの石の上には正面を正方形にくり抜いた石が置かれ、その上には武士の頭を想起させるような二回り程大きな石が乗っている。	
48	有形文化財	歴史資料	丸山の墓地		明治時代	石部南	元々は八石教会所の附属墓地で四方を土塀で囲われた性学の様式で造られている。当時の関係者 3 名が葬られている。	
49	有形文化財	歴史資料	道標（八石教会）		明治時代	石部南	「八石教会所へ是ヨリ三丁」という道標が教会所跡地の入口近くに建っていた。元々は西方の県道三叉路にあったもの。道路拡張により撤去、移設された。	
50	民俗文化財	有形の民俗文化財	道標	1		石部南	「↑西寺 ↓東寺」と刻まれている。	石部町の文学（P. 80）
51	民俗文化財	有形の民俗文化財	道標	1		石部南	「右ひがし寺 道 左 しからき」と刻まれている。	石部町の文学（P. 80）
52	民俗文化財	有形の民俗文化財	道標	1		石部南	「右 近江順禮一番札所 當寺観音 左 東寺瀧信楽道」と刻まれている。	石部町の文学（P. 80）
53	民俗文化財	有形の民俗文化財	力石			石部南	常楽寺山門に置かれている。	西寺の昔と今（P. 24）
54	民俗文化財	有形の民俗文化財	観請縄（勸請吊り）			石部南	村の入口に張られている。 集落の入り口に勸請縄をつくる。病気等が入ってこないよう毎年作る。	西寺の昔と今（P. 47）、滋賀県伝統食文化調査（P. 161）
55	民俗文化財	有形の民俗文化財	お精霊さんの堤灯			石部南	8月 7 日になると、夕方より軒下に迎え日の堤灯を吊す。	西寺の昔と今（P. 101）
56	民俗文化財	有形の民俗文化財	精米用水車の石臼			石部南		西寺の昔と今（P. 103）
57	民俗文化財	有形の民俗文化財	もんどり			石部南	モンドリウツが語源で、ドジョウを捕まえる漁労具である。	西寺の昔と今（P. 104）
58	民俗文化財	有形の民俗文化財	五輪塔		鎌倉～室町？	石部南	東寺の共同墓地にある 5 つの大型五輪塔。	TeaTimeオリジナル417号石造美術（2）水蓮洞倶楽部
59	民俗文化財	無形の民俗文化財	かしのすきやき			石部南		滋賀県伝統食文化調査（P. 159）
60	民俗文化財	無形の民俗文化財	こけらずし			石部南	さば・たけのこ・人参・しいたけを入れた押しずしである。	滋賀県伝統食文化調査（P. 160）
61	民俗文化財	無形の民俗文化財	いばらだんご			石部南	だんごにえんどうを入れ、いばらの葉2枚で包む。	滋賀県伝統食文化調査（P. 160）
62	民俗文化財	無形の民俗文化財	墓だんご（8月7日墓そうじ）			石部南	米の粉で作り柿の葉で供える。	滋賀県伝統食文化調査（P. 161）
63	民俗文化財	無形の民俗文化財	オハナシ（山の神）			石部南	洗米と餅を小さく切ったものである。	滋賀県伝統食文化調査（P. 161）
64	民俗文化財	無形の民俗文化財	小豆がゆ			石部南	小豆を入れたおかゆに餅を入れた。少正月に食べる。	滋賀県伝統食文化調査（P. 161）
65	民俗文化財	無形の民俗文化財	不動講			石部南	不動山の紫雲の滝へ十人衆が参拝する。すき焼きを食べる。	滋賀県伝統食文化調査（P. 161）
66	民俗文化財	無形の民俗文化財	うどんぶるまい			石部南	小麦が取れるころ、うどんを作り、すき焼きで収穫祭をする。	滋賀県伝統食文化調査（P. 162）
67	民俗文化財	無形の民俗文化財	くるびもち			石部南		滋賀県伝統食文化調査（P. 162）
68	民俗文化財	無形の民俗文化財	お大師さんの命日			石部南	大根飯、かぶらの味噌汁、ゆずみそ大根と大豆の醤油煮を作り、仏様にお供えする。	滋賀県伝統食文化調査（P. 162）
69	民俗文化財	無形の民俗文化財	ムシムシ			石部南	小麦粉とサツマイモでつくる。	滋賀県伝統食文化調査（P. 163）
70	民俗文化財	無形の民俗文化財	東寺の山の神行事			石部南	毎年1月5日、9日に行われている。	滋賀県の自然神信仰（P. 56）
71	民俗文化財	無形の民俗文化財	東寺の竜王講			石部南	白山神社の十人衆（長老の組織）が毎年 7 月 8 日に近い日曜日に行う。近年は従事する者の都合で日にちに変動がある。	滋賀県の自然神信仰（P. 149）
72	民俗文化財	無形の民俗文化財	東寺のイモチ送り			石部南	毎年7月の卯、辰、申のいずれかの日に行う。	滋賀県の自然神信仰（P. 162）
73	民俗文化財	無形の民俗文化財	鬼走り（修正会）			石部南	毎年1月15日に長壽寺及び常楽寺で1年間の無病息災と村内安全を祈る修正会が行われる。鬼走りは悪鬼を追い払う追儺の儀式として行われる。	新修石部町史 通史編(P. 159)
74	民俗文化財	無形の民俗文化財	門松立て			石部南	常楽寺、西教寺ともに12月25日に行う。	新修石部町史 史料編(P. 343)
75	民俗文化財	無形の民俗文化財	オオツゴモリ			石部南	12月31日に自家製のそばを食べる。	新修石部町史 史料編(P. 343)
76	民俗文化財	無形の民俗文化財	ヌクヌク参り（仏餉会）			石部南	常楽寺の本堂に祀られている大黒さんを出し、口にご飯をねじ込む。	新修石部町史 史料編(P. 344)
77	民俗文化財	無形の民俗文化財	オオフク茶			石部南	三聖神社に参る前に焼いた梅干しと昆布を熱いお茶に入れ、明の方向をむいて飲む。	新修石部町史 史料編(P. 344)
78	民俗文化財	無形の民俗文化財	正月元日の風習			石部南	戸主が 3 日分の若水をくみ、大根、小芋、丸餅を白みそで炊いた雑煮を作り、箱膳で食す。膳の真ん中には鯛を一匹おく。	新修石部町史 史料編(P. 344)

79	民俗文化財	無形の民俗文化財	山の神の日			石部南	1月3日に行う。	新修石部町史 史料編(P. 344)、ももづてのさと(P. 200)
80	民俗文化財	無形の民俗文化財	鬼のメシサシ（節分）			石部南	ヒイラギの枝にいわしを刺したものである。節分の日に門口につける。	新修石部町史 史料編(P. 346)
81	民俗文化財	無形の民俗文化財	八十八のマスカケ			石部南	八十八才の祝いを八十八のマスカケという。青竹2本を水木でくくり、手形を押した紙と一緒に配る。	新修石部町史 史料編(P. 346)
82	民俗文化財	無形の民俗文化財	イモチ送り（7月15日）			石部南	7月の月末に近い卯の日か辰の日あるいは申の日までに虫送りをする。松明を各戸準備し、点火し、村はずれまで害虫を追い出す。	新修石部町史 史料編(P. 347)
83	民俗文化財	無形の民俗文化財	愛宕まつり（7月24日）			石部南	常楽寺の堂山に祀られている愛宕社に、お神酒・灯明を供え、参道を行燈で照らす。	新修石部町史 史料編(P. 347)
84	民俗文化財	無形の民俗文化財	輪くぐり（7月31日）			石部南	すすきで輪を作り、常楽寺の山門に立てる。これを3回くぐると病気をしないと いう。	新修石部町史 史料編(P. 347)
85	民俗文化財	無形の民俗文化財	風籠り（7月31日）			石部南	西教寺に参る。黙って参らないと大風が吹くと伝えられている。	新修石部町史 史料編(P. 350)
86	民俗文化財	無形の民俗文化財	イモ名月（9月15日）			石部南	根も葉も付けた田芋を、長い竹の先につきさし屋敷の中に立てた。	新修石部町史 史料編(P. 351)
87	民俗文化財	無形の民俗文化財	秋まつり（12月16日）			石部南	団子を作り、寿司・棒鱈を食べ、個々の家で祝う。別名、団子まつりという。	新修石部町史 史料編(P. 351)
88	民俗文化財	無形の民俗文化財	大師講（12月23日、24日）			石部南	カシの木で大師講さんの箸を一組作り、柚と灯明とともに供える。	新修石部町史 史料編(P. 351)
89	民俗文化財	無形の民俗文化財	修正会（1月15日）			石部南	「オコナイ」もしくは「シイシホッガン」と呼ばれる行事である。	新修石部町史 史料編(P. 352～365)
90	民俗文化財	無形の民俗文化財	十人衆			石部南	東寺の祭りなどを司る祭祀組織である。	新修石部町史 史料編(P. 376～380)
91	民俗文化財	無形の民俗文化財	太鼓踊り			石部南		石部の民謡(P. 1)
92	民俗文化財	無形の民俗文化財	草とり唄			石部南	世を忍ぶ教養のある人が農耕を営みたずさわって伝え残したものではないかと推察されている。	石部の民謡(P. 6)
93	民俗文化財	無形の民俗文化財	石搗き唄			石部南	家の新築の土台石をつく作業唄である。	石部の民謡(P. 7)
94	民俗文化財	無形の民俗文化財	ちがいない節			石部南	東寺の歴史を知ることができる唄である。	石部の民謡(P. 9)
95	民俗文化財	無形の民俗文化財	芽の輪			石部南	菜の輪は原始信仰である蛇信仰の名残である。その輪は蛇体を現わし、これをくぐる事は蛇の脱皮を意味し、脱皮によって生命が限らない事を願うものである。	西寺の昔と今（P. 6）
96	民俗文化財	無形の民俗文化財	愛宕祭り			石部南		西寺の昔と今（P. 7）
97	民俗文化財	無形の民俗文化財	いもち送り			石部南	約300年前より行われていると伝わる行事である。松明を燃やし行列を作り、虫を誘いこんで殺しながら、村はずれの地域まで送り出す信仰的な行事である。	西寺の昔と今（P. 9）
98	民俗文化財	無形の民俗文化財	重陽の節句			石部南		西寺の昔と今（P. 13）
99	民俗文化財	無形の民俗文化財	干し柿			石部南	渋柿が熟すと干柿が大抵の家で行われる。	西寺の昔と今（P. 23）
100	民俗文化財	無形の民俗文化財	お夏落し			石部南		西寺の昔と今（P. 80）
101	民俗文化財	無形の民俗文化財	常楽寺尼講			石部南		湖南に生きる 輝き続ける女性たち（P. 142）
102	記念物	史跡	遠藤亮規の墓			石部南		新修石部町史 通史編(P543)
103	記念物	史跡	常楽寺遺跡			石部南		石部町のあゆみ(P. 9)
104	記念物	史跡	西教寺遺跡			石部南		石部町のあゆみ(P. 9)
105	記念物	史跡	長寿寺遺跡			石部南	塔、坊跡がある。屋瓦、鎮壇具が出土している。	石部町のあゆみ(P. 9)
106	記念物	史跡	十王寺遺跡			石部南		石部町のあゆみ(P. 9)
107	記念物	史跡	石部八石教会所跡		明治22年	石部南	個人所有。明治22年8月に石部八石教会が建設。現在は自然倒壊して一部現存する。（正門と廁）	石部町のあゆみ(P. 38)
108	記念物	史跡	経塚（如法塚）			石部南		西寺の昔と今（P. 82）
109	記念物	名勝	紫雲の滝			石部南		新修石部町史 通史編(P. 108)
110	記念物	天然記念物	西寺の金山			石部南		西寺の昔と今（P. 51）
111	記念物	天然記念物	なつめ			石部南		西寺の昔と今（P. 68）
112	記念物	天然記念物	茱萸（グミ）			石部南		西寺の昔と今（P. 69）
113	記念物	天然記念物	西条渋柿			石部南	今は作られていない可能性が高い。鳥取県の特産である。	西寺の昔と今（P. 72）
114	記念物	天然記念物	茶ぼさつ			石部南	ぼさつの由来は米である。	西寺の昔と今（P. 73）
115	記念物	天然記念物	蒨の苔			石部南		西寺の昔と今（P. 81）
116	記念物	天然記念物	しじみ貝			石部南	池で採れた。	西寺の昔と今（P. 96）
117	その他の文化財	伝承	龍王の巨岩			石部南	日照りが続いて百姓仕事や飲み水に困るとき、カンどつくりを水に入れて東寺の龍王山にもっていき、お社にかけると雨が降るとい う。	石部町の文学（P. 84）

番号	文化財類型	種別	名称	員数	時代	地区	備考	出典
1	有形文化財	建造物	大沙川隧道（旧東海道の道路隧道）	1	明治17年（1884年）	三雲	県下最初の近代的隧道である。	滋賀県の近代化遺産（P. 126）、ふるさとのいしぶみ（P. 29）、甲西の石造美術（P. 60）
2	有形文化財	建造物	由良谷川隧道（旧東海道の道路隧道）	1	明治19年（1886年）	三雲		滋賀県の近代化遺産（P. 126）、ふるさとのいしぶみ（P. 43）、甲西の石造美術（P. 60）
3	有形文化財	建造物	JR西日本叡草津線 荒川開渠		明治22年（1889年）	三雲		滋賀県の近代化遺産（P. 251）
4	有形文化財	建造物	JR西日本叡草津線 田仁川函渠		昭和5年（1930年）	三雲		滋賀県の近代化遺産（P. 251）
5	有形文化財	建造物	JR西日本叡草津線 三雲駅（旧国鉄三雲駅）		昭和10年（1935年）	三雲		滋賀県の近代化遺産（P. 251）
6	有形文化財	建造物	JR西日本叡草津線 湯川開渠		明治22年（1889年）	三雲		滋賀県の近代化遺産（P. 251）
7	有形文化財	建造物	甲西ハッピーの倉庫（旧夏見村役場）	1	明治41年	三雲		滋賀県の近代化遺産（P. 251）
8	有形文化財	建造物	三雲小学校講堂	1	昭和11年（1936年）	三雲		滋賀県の近代化遺産（P. 251）
9	有形文化財	建造物	JR西日本叡草津線 由良谷川開渠		明治23年（1890年）	三雲		滋賀県の近代化遺産（P. 251）
10	有形文化財	建造物	JR西日本叡草津線 開渠か			三雲		滋賀県の近代化遺産（P. 251）
11	有形文化財	建造物	JR西日本叡草津線 開渠か			三雲		滋賀県の近代化遺産（P. 251）
12	有形文化財	建造物	JR西日本叡草津線 家棟川函渠		昭和	三雲		滋賀県の近代化遺産（P. 251）、わがまちの文化財（P. 60）
13	有形文化財	建造物	淨休寺			三雲		平松区史（P. 84）
14	有形文化財	建造物	代官門（陣屋城門）			三雲	平松代官所にあった高木氏の門である。	平松区史（P. 86）、甲西路を行く（P. 101）、うつくし松（P. 30）、平松区史（P. 43）
15	有形文化財	建造物	園養寺	1 棟	782～806年	三雲	最澄が開創した。	三雲区歴史・史跡・石塔・文化財（P. 19）
16	有形文化財	建造物	永照院	1 棟	平安時代	三雲	行基が開基した。	三雲区歴史・史跡・石塔・文化財（P. 20）
17	有形文化財	建造物	松尾神社		仁寿3年（853年）創建	三雲		甲西町誌（P. 341）
18	有形文化財	建造物	飯道神社		大同2年（807年）創建	三雲		甲西町誌（P. 343）
19	有形文化財	建造物	夏見神社			三雲	寛治2年（1088）に禅乗法師が収蔵したと云われている。	甲西町誌（P. 345）
20	有形文化財	建造物	天満宮（天満神社）			三雲	社伝によれば、宝暦4年（1754）に飯道寺の良雄法師が修造されたとある。	甲西町誌（P. 346）
21	有形文化財	建造物	立志神社			三雲	社伝によれば欽明天皇のとき、庶民の多くが餓死寸前であったため、天皇は全国12か所の神社に祈願するための勅使を遣わせたという。この神社もその祈願所の一つである。	甲西町誌（P. 349）、甲西路を行く（P. 103）
22	有形文化財	建造物	開山堂（堂宇）	1棟		三雲	後水尾天皇の中宮、東福院の水口御殿を下賜せられたもので、大正3年に大修繕が行われている。堂内には御座の間があり大正天皇が即位式に使用された御帳台用の二畳台が下賜されている。明治元年、石山右兵衛権佐を勅使として勅書及び金幣を賜っている。	甲西町誌（P. 421）
23	有形文化財	建造物	道標	1	明治23年（1890年）	三雲	妙感寺の万里小路藤房卿の墳墓への道標である。	妙感寺史（P. 14）、三雲区歴史・史跡・石塔・文化財（P. 39）、甲西の石造美術（P. 1）
24	有形文化財	建造物	方丈	1	延元年間（1336～1339年）	三雲	延元年間に授翁宗弼が庵居した草庵である。	妙感寺史（P. 313）
25	有形文化財	建造物	庫裡	1		三雲		妙感寺史（P. 313）
26	有形文化財	建造物	塔婆	1	宝暦7年（1757年）	三雲	宝暦の山崩れで犠牲となった人々を供養する塔婆である。	わがまちの文化財（P. 26）
27	有形文化財	建造物	永照院山門	1	寛永5年（1628年）	三雲		甲西路をいく（P. 109）
28	有形文化財	建造物	宝篋印塔	2		三雲	一基は完形だが、もう一基は宝珠が欠けている。	甲西路をいく（P. 123）
29	有形文化財	建造物	報恩寺		明治21年（1867年）再興	三雲		甲西路をいく（P. 127）
30	有形文化財	建造物	宝篋印塔	1	嘉元年間	三雲		甲西路をいく（P. 131）
31	有形文化財	建造物	西教寺山門	1		三雲	旧甲西町内では珍しい「にない堂」形であり、「かえるまた」がはめられている。	甲西路を行く（P. 137）
32	有形文化財	建造物	上葦穂神社		670年建立	三雲	天慶7年（944年）、建長2年（1250年）、元禄8年（1695年）の3度大改築された。	甲西路を行く（P. 159）
33	有形文化財	建造物	一石双五輪塔碑	1		三雲		甲西の石造美術（P. 51）
34	有形文化財	建造物	門柱	1		三雲	古い三雲小学校の校門の門柱である。	甲西の石造美術（P. 62）
35	有形文化財	建造物	竜王山 観音寺		享保年間	三雲		びわ湖百八霊場公式ガイドブック（P. 146）
36	有形文化財	建造物	美松山 南照寺		延暦24年（805年）	三雲		びわ湖百八霊場公式ガイドブック（P. 147）
37	有形文化財	建造物	八島寺地藏堂		天平3年（731年）創立	三雲	天平3年（731）に良弁僧正が夢のお告げにより創立したと云われる。寿永年間の屋島の戦いの後、平家の女官たちが建てたと云われている。	近江のざらし行（P. 130）、柑子袋区まとめpdf、甲西町誌（P. 392）、甲西路を行く（P. 154）
38	有形文化財	建造物	紫雲山 光林寺			三雲		近江のざらし行（P. 130）

39	有形文化財	建造物	養林寺		応仁2年（1469年）	三雲		近江のざらし行（P. 130）
40	有形文化財	建造物	石造宝篋印塔			三雲		近江のざらし行（P. 134）
41	有形文化財	建造物	西往寺			三雲		改訂 湖南省都市計画マスタープラン（P. 66）
42	有形文化財	建造物	妙感寺			三雲		改訂 湖南省都市計画マスタープラン（P. 66）
43	有形文化財	建造物	常照寺			三雲		改訂 湖南省都市計画マスタープラン（P. 66）
44	有形文化財	建造物	西照寺			三雲		改訂 湖南省都市計画マスタープラン（P. 66）
45	有形文化財	建造物	南勝寺			三雲		改訂 湖南省都市計画マスタープラン（P. 66）
46	有形文化財	建造物	愍念寺			三雲		改訂 湖南省都市計画マスタープラン（P. 66）
47	有形文化財	建造物	愛宕大社			三雲		柑子袋区まとめpdf
48	有形文化財	建造物	五輪塔	1基		三雲		三雲区歴史・史跡・石塔・文化財(P. 34)
49	有形文化財	建造物	天保義民の丘モニュメント	1		三雲		ふるさとのいしぶみ(P. 11)
50	有形文化財	建造物	五輪塔			三雲		甲西の石造美術（P. 39）
51	有形文化財	建造物	宝篋印塔			三雲		甲西の石造美術（P. 39）
52	有形文化財	建造物	五輪塔			三雲		甲西の石造美術（P. 39）
53	有形文化財	建造物	宝篋印塔			三雲		甲西の石造美術（P. 40）
54	有形文化財	建造物	五輪塔			三雲		甲西の石造美術（P. 40）
55	有形文化財	建造物	了安寺		奈良時代	三雲		近江のざらし行（P. 133）
56	有形文化財	建造物	盛福寺			三雲		近江のざらし行（P. 134）
57	有形文化財	建造物	吉見神社			三雲		近江のざらし行（P. 135）
58	有形文化財	建造物	上乘寺			三雲		近江のざらし行（P. 136）
59	有形文化財	絵画	歌仙画像額		享保13年（1728年）	三雲	六面あり、それぞれ尺角（約30cm）である。	甲西町誌（P. 345）
60	有形文化財	絵画	古画	1	宝暦12年（1762年）	三雲		甲西町誌（P. 345）
61	有形文化財	絵画	涅槃画			三雲		甲西町誌（P. 376）
62	有形文化財	絵画	兜御影			三雲	顕如の筆である。宗祖の像で石山合戦時に兜に入れて戦場に出たとされている。	甲西町誌（P. 378）
63	有形文化財	絵画	殿中対面図	1		三雲	絹本着色掛軸で、藤房卿と楠木正成との対面図である。	妙感寺史（P. 312）
64	有形文化財	彫刻	無縁小仏群	複数		三雲		三雲区歴史・史跡・石塔・文化財(P. 21)、甲西の石造美術（P. 34）
65	有形文化財	彫刻	三雲水子地藏尊	複数		三雲		三雲区歴史・史跡・石塔・文化財(P. 22)
66	有形文化財	彫刻	石仏	2体		三雲	薬師像と地藏の2体である。	三雲区歴史・史跡・石塔・文化財(P. 23)、わがまちの文化財（P. 22）
67	有形文化財	彫刻	日雲大明神（日雲宮址/伊勢両皇太神宮）			三雲		三雲区歴史・史跡・石塔・文化財(P. 25)
68	有形文化財	彫刻	不動明王像	1体		三雲	滝の岩壁の一部に線刻の像が彫られている。	三雲区歴史・史跡・石塔・文化財(P. 30)、甲西の石造美術（P. 31）
69	有形文化財	彫刻	釈迦坐像	1体	平安もしくは鎌倉時代	三雲		三雲区歴史・史跡・石塔・文化財(P. 36)、わがまちの文化財（P. 18）、甲西の石造美術（P. 29）
70	有形文化財	彫刻	牛の守り神	1		三雲		甲西町誌（P. 208）
71	有形文化財	彫刻	狛犬			三雲		甲西町誌（P. 340）
72	有形文化財	彫刻	木造狛犬			三雲		甲西町誌（P. 344）
73	有形文化財	彫刻	木造猿			三雲		甲西町誌（P. 344）
74	有形文化財	彫刻	額	1		三雲	木製である。	甲西町誌（P. 345）
75	有形文化財	彫刻	陶製狛犬		享保9年（1724年）	三雲		甲西町誌（P. 349）
76	有形文化財	彫刻	寺号額		応仁2年（1468年）	三雲		甲西町誌（P. 376）、わがまちの文化財(P. 78)
77	有形文化財	彫刻	阿弥陀如来像			三雲		甲西町誌（P. 380）
78	有形文化財	彫刻	田川の不動			三雲	大きな自然石に不動明王が刻まれている。	甲西町誌（P. 400）、甲西路を行く（P99）

79	有形文化財	彫刻	大円宝鑑国師坐像	1	江戸時代	三雲	妙感寺中興開山愚堂東寔の木像である。	妙感寺史（P.312）
80	有形文化財	彫刻	扁額	1		三雲	中国の僧で日本に帰化した3名僧のうちの一人、木庵禅師の筆である。	わがまちの文化財（P.32）、甲西路に行く（P.111）
81	有形文化財	彫刻	六体観音石仏	1	宝永7年（1710年）	三雲		わがまちの文化財（P.44）
82	有形文化財	彫刻	洋画の額	1	戦後	三雲	戦時中に大阪から疎開してきた生徒たちから贈られた。	甲西路をいく（P.125）
83	有形文化財	彫刻	親鸞聖人像	1		三雲		甲西路に行く（P.137）
84	有形文化財	彫刻	木造阿弥陀如来像	1	延宝5年（1677年）	三雲		甲西路に行く（P.140）
85	有形文化財	彫刻	男神像	3		三雲		湖南地方の文化財No.1（目次）、湖南地方の文化財No.2（P.83）
86	有形文化財	彫刻	木造授翁宗弼坐像	1	室町時代	三雲		湖南地方の文化財No.2(P.101)
87	有形文化財	彫刻	木造 神像	3	鎌倉時代	三雲		湖南地方の文化財No.2(P.101)
88	有形文化財	彫刻	地藏	1		三雲	甲西町から信楽町へ通じる道にある。	甲西の石造美術（P.29）、三雲区歴史・史跡・石塔・文化財(P.35)
89	有形文化財	彫刻	石仏	複数		三雲	立志神社前の周辺道路に石仏が並んでいる。地域の人からは「浅間（せんけん）」さんと呼ばれている。	甲西の石造美術（P.30）
90	有形文化財	彫刻	四方仏		鎌倉時代か	三雲	四角の石の四面に仏様が彫られている。	甲西の石造美術（P.30）
91	有形文化財	彫刻	一石六体仏			三雲		甲西の石造美術（P.31）
92	有形文化財	彫刻	小仏群			三雲		甲西の石造美術（P.34）
93	有形文化財	彫刻	小仏			三雲		甲西の石造美術（P.34）
94	有形文化財	彫刻	小仏群			三雲		甲西の石造美術（P.34）
95	有形文化財	彫刻	小仏群			三雲		甲西の石造美術（P.35）
96	有形文化財	彫刻	小仏			三雲		甲西の石造美術（P.35）
97	有形文化財	彫刻	小仏			三雲		甲西の石造美術（P.35）
98	有形文化財	彫刻	八島寺地藏尊	1	安永4年	三雲		柑子袋区まとめpdf
99	有形文化財	工芸品	古鏡	1		三雲	若宮神社跡を開拓したときに一個の壺の中より出てきたものである。花鳥の彫刻をほどこした円形の和鏡で大きさは直径約7cmである。	甲西町誌（P.340）
100	有形文化財	工芸品	地域の工芸品	1		三雲	銅鏡と思われる。名称は不明である。盗難被害にあっている。	夏見区まとめpdf
101	有形文化財	工芸品	石灯籠	1基		三雲		三雲区歴史・史跡・石塔・文化財(P.22)、甲西の石造美術（P.59）
102	有形文化財	工芸品	釜	5	寛永19年（1642年）	三雲		甲西町誌（P.345）
103	有形文化財	工芸品	鰐口	4		三雲	白崎家は豊太閤征韓の役に従軍した武将で、この一族は代々吉見神社を崇敬していた。この白崎家が鰐口を寄進した。	甲西町誌（P.348）
104	有形文化財	工芸品	鏡	3		三雲	白銅製円形である。	甲西町誌（P.349）
105	有形文化財	工芸品	梵鐘	1	享保13年（1728年）	三雲		甲西町誌（P.379）
106	有形文化財	工芸品	喚鐘	1	元禄16年（1703年）	三雲		甲西町誌（P.379）
107	有形文化財	工芸品	饒鉢	1	宝永4年（1707年）	三雲		甲西町誌（P.379）
108	有形文化財	工芸品	半鐘	1	享保18年（1734年）	三雲		甲西町誌（P.384）
109	有形文化財	工芸品	半鐘	1	寛永6年（1629年）	三雲		甲西町誌（P.385）
110	有形文化財	工芸品	双盤		宝暦9年（1759年）	三雲		甲西町誌（P.385）
111	有形文化財	工芸品	半鐘		宝暦12年（1762年）	三雲		甲西町誌（P.387）
112	有形文化財	工芸品	梵鐘		宝暦5年（1755年）	三雲		甲西町誌（P.388）
113	有形文化財	工芸品	釣鐘		延享3年（1746年）	三雲		甲西町誌（P.390）
114	有形文化財	工芸品	柱杖及払子	1		三雲	妙感寺開山授翁宗弼所用のものである。	妙感寺史（P.312）
115	有形文化財	工芸品	奉両宮常夜燈	1		三雲		わがまちの文化財（P.60）、甲西の石造美術(P.58)
116	有形文化財	工芸品	かまど	1	天明5年	三雲	湯をあげる石のかまどである。	わがまちの文化財（P.85）
117	有形文化財	工芸品	常夜灯	1	寛政8年（1797年）	三雲		甲西路に行く（P.153）
118	有形文化財	工芸品	鰐口	1	元禄5年（1693年）	三雲		甲西路に行く（P.153）
119	有形文化財	工芸品	鉦	1	安永4年（1776年）	三雲		甲西路に行く（P.154）

120	有形文化財	工芸品	石碑	2	明治19年（1886年）	三雲	家棟川隧道の名称が書かれた石碑と築造時期を記した石碑である。	甲西の石造美術（P. 21）
121	有形文化財	工芸品	常夜灯	1	弘化3年（1847年）	三雲	江戸末期の様式をもつ。	甲西の石造美術(P. 58)
122	有形文化財	工芸品	石灯籠	1	明和元年（1764年）	三雲		甲西の石造美術(P. 59)
123	有形文化財	書跡	額面	1		三雲	久邇宮朝彦親王殿下の社号「上葦穂神社」の御染筆である。	甲西町誌（P. 340）
124	有形文化財	書跡	矢筒の名号（九字名号）			三雲	顕如が石山合戦時、九字名号を矢筒に入れて出陣したため、矢筒の名号という。	甲西町誌（P. 376）
125	有形文化財	書跡	江戸時代歌人国学者遺墨短冊			三雲		甲西町誌（P. 376）
126	有形文化財	書跡	十字名号			三雲	宗祖親鸞の筆である。賛文は證如。愍念寺教恵が石山合戦の功でもらったものである。	甲西町誌（P. 378）
127	有形文化財	書跡	扁額			三雲		甲西町誌（P. 386）
128	有形文化財	書跡	軸			三雲	題目が書いてある。	甲西町誌（P. 389）
129	有形文化財	書跡	額	2		三雲	「温情」と書かれた額と「金閑静」と書かれた額である。	わがまちの文化財（P. 56）
130	有形文化財	書跡	志宇の俳句が書かれた懐紙	1		三雲	志宇が光林寺で読んだ懐紙が残されている。	わがまちの文化財（P. 76）
131	有形文化財	書跡	御染筆「清浄光」		昭和34年（1959年）	三雲	西本願寺御門主が書かれた文字である。	甲西路をいく（P. 128）
132	有形文化財	古文書	三雲区有文書	4979		三雲		三雲区有文書目録
133	有形文化財	古文書	上葦穂神社古文書	1式		三雲	由緒1巻、別伝由緒1紙、祭礼行列1綴、覚書1通、領主境内寄附状3通である。	甲西町誌（P. 340）、柑子袋区まとめpdf
134	有形文化財	古文書	松尾神社古文書	3		三雲	平松大名神社紀、江州甲賀郡松林記、当社年中大小神事次第事である。	甲西町誌（P. 342）
135	有形文化財	古文書	飯道神社古文書	1		三雲	飯道大明神記である。	甲西町誌（P. 344）
136	有形文化財	古文書	愍念寺古屋敷に関する文書		元和4年（1618年）	三雲		甲西町誌（P. 378）
137	有形文化財	古文書	年貢の文書		享保20年（1735年）	三雲		甲西町誌（P. 378）
138	有形文化財	古文書	勅書		明治元年（1868年）	三雲		甲西町誌（P. 390）
139	有形文化財	古文書	明治天皇勅書	1	明治元年（1868年）	三雲		妙感寺史（P. 312）
140	有形文化財	古文書	三所倭歌	1		三雲	授翁宗弼の真筆で、金地巻物である。	妙感寺史（P. 312）
141	有形文化財	古文書	宮島家文書			三雲	宮島英夫家文書の員数は836点。	感状伝達書：甲西町誌（P. 458） 宮島英夫家文書：宮島英夫家文書調査報告書(P. 1～33)
142	有形文化財	考古資料	高杯			三雲	立志神社の参道工事時に出土した。	甲西町誌（P. 398）
143	有形文化財	考古資料	土器	1式		三雲	立志神社前古墳から出土した土器である。	近江の考古学黎明期（P. 28）
144	有形文化財	歴史資料	甲賀古土隊員使用の肩章、隊長章、はちまき	1式		三雲		甲西町誌（P. 458）
145	有形文化財	歴史資料	菊花御紋章縫唐櫃覆			三雲		甲西町誌（P. 458）
146	有形文化財	歴史資料	砂防恩碑	1	明治19年（1886年）	三雲	砂防に協力指導してもらった御恩の碑である。	滋賀県の近代化遺産（P. 251）、甲西の石造美術（P. 17）
147	有形文化財	歴史資料	造林恩碑	1	昭和19年（1944年）	三雲	植林造林の謝意を伝えた石碑である。	滋賀県の近代化遺産（P. 251）、甲西の石造美術(P. 17)
148	有形文化財	歴史資料	天保義民之碑	1	明治31年（1898年）	三雲	毎年10月15日は慰霊祭が行われる。	滋賀県の近代化遺産（P. 251）、甲西町誌（P. 428）、甲西路を行く（P. 95）、甲西の石造美術（P. 41）、三雲区歴史・史跡・石塔・文化財(P. 14)
149	有形文化財	歴史資料	家棟川隧道の額石		明治19年（1886年）	三雲	「家棟川」と刻まれている。	滋賀県の近代化遺産（P. 251）、ふるさとのいしぶみ（P. 51）
150	有形文化財	歴史資料	亀淵先生落髪之墳 句碑			三雲	亀淵先生が46歳の時、仏心をおこして髪を剃り発心したことを記念して建立された碑である。	平松区史（P. 72）、甲西路を行く（P. 143）、新修石部町史 通史編(P. 486)、甲西町誌（P. 380）、甲西町の文学碑（P. 34）
151	有形文化財	歴史資料	夫婦句碑			三雲	文化・文政期の俳人夫婦で平松の大官を勤めていた奥村重溪・志宇夫婦の句碑である。	平松区史（P. 78）、甲西町志（P. 379）、わがまちの文化財（P. 66）、甲西町の文化財（P. 37）、甲西路を行く（P. 145）
152	有形文化財	歴史資料	三雲の鳥瞰図		明治4年頃	三雲	明治初期の三雲区絵図面である。	三雲区歴史・史跡・石塔・文化財(P. 6, 7)
153	有形文化財	歴史資料	英霊碑	1基	昭和28年	三雲		三雲区歴史・史跡・石塔・文化財(P. 22)、甲西の石造美術（P. 41）
154	有形文化財	歴史資料	名号碑	1基		三雲		三雲区歴史・史跡・石塔・文化財(P. 22)
155	有形文化財	歴史資料	木札	1枚		三雲	嘉永5年に龍堂を建立したと書かれた木札である。	三雲区歴史・史跡・石塔・文化財(P. 23)
156	有形文化財	歴史資料	石碑	1基		三雲		三雲区歴史・史跡・石塔・文化財(P. 25)
157	有形文化財	歴史資料	定紋入りの石	1基		三雲	鹿児島県の島津藩の休憩所のしるしか。	三雲区歴史・史跡・石塔・文化財(P. 32)、甲西の石造美術（P. 20）
158	有形文化財	歴史資料	緑の恩人の碑	1基	昭和19年	三雲		三雲区歴史・史跡・石塔・文化財(P. 41)
159	有形文化財	歴史資料	植樹記念碑	1基	昭和47年	三雲		三雲区歴史・史跡・石塔・文化財(P. 42)、甲西町誌（P. 234）、甲西の石造美術（P. 20）
160	有形文化財	歴史資料	金幣	1	享保17年（1733年）	三雲		甲西町誌（P. 345）

161	有形文化財	歴史資料	柑子袋地区の古地名大地図			三雲		甲西町誌（P. 376）
162	有形文化財	歴史資料	公儀御掟目の写し			三雲		甲西町誌（P. 376）
163	有形文化財	歴史資料	高木家過去帖			三雲		甲西町誌（P. 379）
164	有形文化財	歴史資料	芭蕉の句碑			三雲		甲西町誌（P. 380）、わがまちの文化財（P. 31）、甲西町の文学碑（P. 40）
165	有形文化財	歴史資料	額、磬、銅板納札			三雲		甲西町誌（P. 388）
166	有形文化財	歴史資料	開基碑		天文12年（1543年）	三雲		甲西町誌（P. 388）
167	有形文化財	歴史資料	石柱	複数		三雲	複雑な分断治領の関係の碑である。「従是東淀領」と刻まれている。	甲西町誌（P. 495）
168	有形文化財	歴史資料	門碑	1	昭和4年	三雲	「微妙大使万里藤房卿墓所」と刻まれている。	妙感寺史（P. 313）
169	有形文化財	歴史資料	六字名号碑	1	宝暦7年（1754年）	三雲	宝暦年間に起きた山津波で亡くなった94人を祀る供養碑である。	妙感寺史（P. 314）、ふるさとのいしぶみ（P. 26）、甲西の石造美術(P. 50)
170	有形文化財	歴史資料	句碑	1		三雲	梅室の句碑が刻まれている。	ふるさとのいしぶみ(P. 17)
171	有形文化財	歴史資料	石碑	1	明治12年	三雲	大同2年（807年）に飯道神社が川の水でいつも困っていたため明治の世になり移したことが記された碑である。	ふるさとのいしぶみ(P. 35)
172	有形文化財	歴史資料	拓友碑	1	昭和44年（1969年）	三雲	満州開拓青年義勇隊が建てた碑である。	ふるさとのいしぶみ(P. 40)
173	有形文化財	歴史資料	石碑	1	昭和53年（1978年）	三雲	町民憲章が彫られた碑である。	ふるさとのいしぶみ(P. 45)
174	有形文化財	歴史資料	手水鉢の句	1	昭和9年（1934年）	三雲	19代目住職の句が彫られている。	ふるさとのいしぶみ（P. 53）
175	有形文化財	歴史資料	領地碑	3		三雲	江戸時代の殿様の領地指示標でそれぞれ「従是東 本多伊豫守領」「従是西 本多伊豫守領」「西淀領」と刻まれている。	ふるさとのいしぶみ（P. 55）
176	有形文化財	歴史資料	領地碑	1		三雲	「従是西淀領」と刻まれている。	ふるさとのいしぶみ（P. 57）、わがまちの文化財（P. 82）
177	有形文化財	歴史資料	奉納額三十六俳仙	1	明治21年（1888年）	三雲		わがまちの文化財（P. 62）
178	有形文化財	歴史資料	六字名号碑	1	安政4年（1857年）	三雲		わがまちの文化財（P. 74）
179	有形文化財	歴史資料	題目碑	1		三雲	「従是 阿星山西寺十八丁」「近江順礼一番札所」と刻まれている。道標も兼ねている。	わがまちの文化財（P. 74）、甲西の石造美術（P. 3）
180	有形文化財	歴史資料	社碑	2	それぞれ明治33年（1900年）と明治14年（1886年）	三雲		わがまちの文化財（P. 84）
181	有形文化財	歴史資料	歌碑	1		三雲		わがまちの文化財（P. 85）
182	有形文化財	歴史資料	芭蕉の句碑	1	190年前？	三雲		甲西町の文学碑（P. 2）、甲西路に行く（P. 91）
183	有形文化財	歴史資料	校歌碑	1	平成元年（1989年）	三雲		甲西町の文学碑（P. 4）、甲西の石造美術（P. 16）
184	有形文化財	歴史資料	歌碑	1	明治15年（1882年）	三雲		甲西町の文学碑（P. 9）
185	有形文化財	歴史資料	花水歌碑	1	昭和50年（1975年）	三雲		甲西町の文学碑（P. 10）
186	有形文化財	歴史資料	詩碑	1	平成元年（1989年）	三雲	甲西寿苑の社長の詩である。	甲西町の文学碑（P. 14）
187	有形文化財	歴史資料	校歌碑	1	昭和11年（1936年）	三雲		甲西町の文学碑（P. 16）
188	有形文化財	歴史資料	巨岩歌碑	1	昭和14年（1939年）	三雲		甲西町の文学碑（P. 20）
189	有形文化財	歴史資料	松溪の碑	1	昭和61年（1986年）	三雲	「奥村松溪 寺子屋の跡」と刻まれた碑である。	甲西町の文学碑（P. 22）
190	有形文化財	歴史資料	詩碑	1	昭和61年（1986年）	三雲	阿久悠の「甲子園の詩」が刻まれた碑である。	甲西町の文学碑（P. 26）
191	有形文化財	歴史資料	校歌碑	1	昭和43年（1968年）	三雲		甲西町の文学碑（P. 28）、甲西の石造美術（P. 16）
192	有形文化財	歴史資料	献木記念の歌碑	1	昭和43年（1968年）	三雲		甲西町の文学碑（P. 43）
193	有形文化財	歴史資料	社碑		昭和18年（1943年）	三雲		甲西路をいく（P. 103）
194	有形文化財	歴史資料	石碑	1	明治34年（1901年）	三雲	「中興 諱誉上人」と刻まれている。	甲西路をいく（P. 115）
195	有形文化財	歴史資料	西光寺過去帳	1	慶長3年（1569年）	三雲		甲西路をいく（P. 135）
196	有形文化財	歴史資料	顕彰碑	1	明治6年（1873年）	三雲	明治6年に寂された了弼という人の顕彰の碑である。	甲西路に行く（P. 137）、ふるさとのいしぶみ（P. 33）
197	有形文化財	歴史資料	近藤修栄の位牌			三雲	慶長の役の時、教如が関東に向かう際に、自ら道案内し守護を務めた人物の位牌である。	甲西路に行く（P. 139）
198	有形文化財	歴史資料	石碑	1		三雲		甲西の石造美術（P. 10）
199	有形文化財	歴史資料	案内石碑	1		三雲		甲西の石造美術（P. 10）
200	有形文化財	歴史資料	無縁碑	1		三雲	「有りがたや」云々と刻まれている。	甲西の石造美術（P. 13）
201	有形文化財	歴史資料	行幸記念碑	1	昭和56年（1981年）	三雲	滋賀国体（1981年）が開催された際、天皇陛下が当時の甲西町に行幸された記念の碑である。	甲西の石造美術（P. 21）

202	有形文化財	歴史資料	記念石碑	1	昭和52年（1987年）	三雲	甲西中学校の中庭に「生徒目標」と刻まれた石がある。	甲西の石造美術（P. 26）
203	有形文化財	歴史資料	六字名号碑	1		三雲		甲西の石造美術（P. 43）
204	有形文化財	歴史資料	六字名号碑	1	嘉永2年（1849年）	三雲		甲西の石造美術（P. 43）
205	有形文化財	歴史資料	六字名号碑	1	元文5年（1740年）	三雲	「西往寺住持道順代」と刻まれている。	甲西の石造美術（P. 43）
206	有形文化財	歴史資料	題目碑	1	昭和3年（1928年）	三雲	「五穀成就萬民快樂 天下太平国土安穩」と刻まれている。	甲西の石造美術（P. 43）
207	有形文化財	歴史資料	六字名号碑	1	文政10年（1827年）	三雲		甲西の石造美術（P. 44）
208	有形文化財	歴史資料	六字名号碑	1		三雲		甲西の石造美術（P. 44）
209	有形文化財	歴史資料	六字名号碑	1	文化6年（1809年）	三雲		甲西の石造美術（P. 44）
210	有形文化財	歴史資料	六字名号碑	2	延享5年（1748年）	三雲		甲西の石造美術（P. 45）
211	有形文化財	歴史資料	六字名号碑	複数		三雲		甲西の石造美術（P. 45）
212	有形文化財	歴史資料	六字名号碑	1	寛文12年（1672年）	三雲		甲西の石造美術（P. 45）
213	有形文化財	歴史資料	六字名号碑	1	安政4年（1857年）	三雲		甲西の石造美術（P. 46）
214	有形文化財	歴史資料	六字名号碑	1	元政7年（1824年）	三雲		甲西の石造美術（P. 46）
215	有形文化財	歴史資料	名号碑	3		三雲		甲西の石造美術(P. 50)
216	有形文化財	歴史資料	名号碑	1		三雲		甲西の石造美術(P. 51)
217	有形文化財	歴史資料	夏見氏の墓碑	2		三雲	夏見の地名の由来である夏見氏の墓碑である。	甲西の石造美術(P. 52)
218	有形文化財	歴史資料	針氏一族の墓碑	複数		三雲		甲西の石造美術(P. 52)
219	有形文化財	歴史資料	名号碑		寛文8年（1668年）	三雲		甲西の石造美術(P. 53)
220	有形文化財	歴史資料	石碑	1		三雲	甲西中学校の校名が刻まれた石碑である。	甲西の石造美術(P. 61)
221	有形文化財	歴史資料	モニュメント	1		三雲	甲西中学校のシンボルマークである石の芸術彫刻である。	甲西の石造美術(P. 61)
222	有形文化財	歴史資料	芭蕉句碑			三雲		淡海の芭蕉句碑上(P. 39)
223	有形文化財	歴史資料	芭蕉句碑			三雲		淡海の芭蕉句碑上(P. 43)
224	有形文化財	歴史資料	比翼句碑			三雲		淡海の芭蕉句碑上(P. 47)
225	有形文化財	歴史資料	芭蕉句碑		江戸時代	三雲		淡海の芭蕉句碑上(P. 51)、甲西町の文学碑（P. 46）
226	有形文化財	歴史資料	夏見古地図	1	江戸時代（1648年～1652年）	三雲	盗難被害にあっている。	夏見区まとめpdf
227	有形文化財	歴史資料	地域の古文書			三雲	盗難被害にあっている。	夏見区まとめpdf
228	有形文化財	歴史資料	顕彰碑	1	明治12年	三雲	西教寺第17世住職了衢の顕彰碑である。	ふるさとのいしぶみ(P. 33)
229	有形文化財	歴史資料	八島寺内の文化財	1式		三雲	2体の像と、1幅の掛軸である。	柑子袋区まとめpdf
230	民俗文化財	有形の民俗文化財	烏帽子着			三雲		平松区史（P. 38）
231	民俗文化財	有形の民俗文化財	題目石碑			三雲	三雲にあった「業掛岩」という処刑場に建てられた供養塔である。道標を兼ねており、「従是いづみ道 深川道 二里半元禄八年谷口法春」が刻まれている。	平松区史（P. 86）、甲西路を行く（P. 101）、三雲区歴史・史跡・石塔・文化財(P. 40)、甲西町誌（P. 524）、甲西の石造美術（P. 2）
232	民俗文化財	有形の民俗文化財	新街道碑（石塔）	1基		三雲	もともと園養寺と三雲駅の間にあったが、現在は天保義民の丘に移設されている。	三雲区歴史・史跡・石塔・文化財(P. 16)
233	民俗文化財	有形の民俗文化財	おしげ地藏	1体		三雲		三雲区歴史・史跡・石塔・文化財(P. 21)、甲西の石造美術(P. 29)
234	民俗文化財	有形の民俗文化財	道標	1	寛政9年（1798年）	三雲	万里小路卿の菩提寺と妙感寺への道標である。	三雲区歴史・史跡・石塔・文化財(P. 37)、甲西の石造美術（P. 1）
235	民俗文化財	有形の民俗文化財	小神輿	1		三雲		甲西町誌（P. 340）
236	民俗文化財	有形の民俗文化財	古石	1		三雲	古来よりイハへ又はカシツヒメと呼ばれ、上葦穂神社の霊代として昔から内陣に鎮座している。	甲西町誌（P. 340）
237	民俗文化財	有形の民俗文化財	妙感寺開山授翁宗弼墓塔	1		三雲	五輪塔である。玉石垣がめぐらされている。	妙感寺史（P. 312）、わがまちの文化財（P. 24）
238	民俗文化財	有形の民俗文化財	願かけ地藏	1	江戸時代	三雲		妙感寺史（P. 314）
239	民俗文化財	有形の民俗文化財	道標	2		三雲	一つは「田川ふどう道」と刻まれ、もう一つは「靈照山妙感寺 従是十四丁」と刻まれている。	わがまちの文化財（P. 12）
240	民俗文化財	有形の民俗文化財	おせき地藏（身代り地藏）	1		三雲	地藏をお守りしていた人の名がおせきであったため「おせき地藏」というようになった。	わがまちの文化財（P. 42）、甲西の石造美術（P. 30）
241	民俗文化財	有形の民俗文化財	道標	1		三雲	「新海道」と刻まれた碑である。	甲西の石造美術（P. 1）
242	民俗文化財	有形の民俗文化財	道標	1		三雲	「甲賀西国七十番 是從一丁」と刻まれている。	甲西の石造美術（P. 2）

243	民俗文化財	有形の民俗文化財	道標	1	昭和10年（1935年）	三雲	夏見新田への道標である。	甲西の石造美術（P. 2）
244	民俗文化財	有形の民俗文化財	子安地藏尊	1	昭和11年	三雲		甲西の石造美術（P. 3）
245	民俗文化財	有形の民俗文化財	石仏	1		三雲	石台には「みぎ美松 東寺みち」と刻まれている。	甲西の石造美術（P. 3）
246	民俗文化財	有形の民俗文化財	道標	1		三雲	「旧法相宗 八島寺 地藏堂」と刻まれている。	甲西の石造美術（P. 10）
247	民俗文化財	有形の民俗文化財	地藏	1	享保15年（1730年）	三雲		甲西の石造美術（P. 29）
248	民俗文化財	有形の民俗文化財	三雲薬師	1		三雲		甲西の石造美術（P. 29）
249	民俗文化財	有形の民俗文化財	手水鉢			三雲	自然石の手水鉢で大岩に雄玉と雌玉が磨崖仏のように線刻されている。	甲西の石造美術(P. 63)
250	民俗文化財	有形の民俗文化財	子安地藏尊			三雲		近江のざらし行（P. 132）
251	民俗文化財	無形の民俗文化財	平松のボンノコヘンノコ（7月31日）		平安時代（853年）	三雲	松尾神社摂社三宝荒神の祭礼（火伏せの祈願行事）として毎年7月31日に行われる行事である。	滋賀県の祭礼行事（P. 194）、郷土の顔作づくシリーズNO. 1、平松区史（P. 33）、甲西町誌（P. 573）
252	民俗文化財	無形の民俗文化財	神頭講			三雲		平松区史（P. 38）
253	民俗文化財	無形の民俗文化財	平松教え唄			三雲		平松区史（P. 104）
254	民俗文化財	無形の民俗文化財	三雲小唄		平成23年編曲	三雲		三雲区歴史・史跡・石塔・文化財(P. 49)
255	民俗文化財	無形の民俗文化財	子安地藏の信仰			三雲	妊娠5か月の戌の日、新しい帯をもって子安地藏尊に参り、その帯を置いて先に置かれた物を締めて帰ることを行っている。	甲西町誌（P. 502）
256	民俗文化財	無形の民俗文化財	中陰中			三雲	死者の肌着を竿竹に吊るして北向きにし、軒先に出す。死者の魂魄がこの肌着をながめながらあの世に旅立つ。この慣習を「ふるさと」と呼んでいる。	甲西町誌（P. 515）
257	民俗文化財	無形の民俗文化財	白餅(8月7日)			三雲	8月7日に15歳までの村中の男の子が各町別に組頭の子どもの家に集まり、午前中に白米を臼でついて餅を作り、これをバランの葉に延ばし名刺大に切る。昼前になると白餅をお盆の上にのせ、ニシンの皿を添えてのせ、お神酒を携えて山の神に参る。子供たちはしきりに従って威儀を正し白餅の神事を行う。神前でのすべての行事が終わると、その場で神との共食のため神酒をいただき白餅を食べる。	甲西町誌（P. 571）
258	民俗文化財	無形の民俗文化財	かり払い（小正月）			三雲	各家では1月14日から屋敷の内外を清掃する。特に仏間を整頓し、仏壇を祭り、赤飯を炊いて供える。この日の妙感寺の寺々の住持は新春を迎えるにあたり、過ぎ去った歳の罪障を払拭するため各戸を回礼して歩く。	甲西町誌(P. 585)
259	民俗文化財	無形の民俗文化財	サナブリ、サナボリ（田植え終わり）			三雲	田植え終わり儀礼で、各田植え単位ごとに「苗代じまい」として盛大に行う。	甲西町誌(P. 590)
260	民俗文化財	無形の民俗文化財	流れごもり（9月）			三雲	三雲では流れが多かったため、9月に流れごもりがあった。	甲西町誌(P. 594)
261	民俗文化財	無形の民俗文化財	ぼた餅かぐら（10月）			三雲		甲西町誌(P. 594)
262	民俗文化財	無形の民俗文化財	花祭り			三雲	お釈迦様の誕生を祝う行事である。	西寺の昔と今（P. 4）
263	民俗文化財	無形の民俗文化財	風ごもり			三雲	風鎮めの祈願する行事である。	西寺の昔と今（P. 10）
264	民俗文化財	無形の民俗文化財	八嵯寺（八島寺）地藏尊祭礼	1		三雲	毎年8月23日に行われる。	柑子袋区まとめpdf
265	記念物	史跡	旧横田橋橋脚跡	1	大正	三雲		滋賀県の近代化遺産（P. 251）
266	記念物	史跡	明治天皇皇蹟（明治天皇御駐輦跡）	1	昭和8年（1933年）	三雲	明治元年の9月22日に三雲の井上庄之助氏邸で明治天皇が御休憩された記念碑である。	滋賀県の近代化遺産（P. 251）、甲西町誌（P. 424）、ふるさとのいしぶみ（P. 23）、甲西の石造美術（P. 20）
267	記念物	史跡	高木陣所跡			三雲	現在は宅地となっている。	近江の城37-09（地図）、淡海の城（37/近江城郭探訪差し込み資料より）
268	記念物	史跡	平松陣屋跡		元禄11年（1689年）	三雲	陣屋の長屋門が残っている。	平松区史（P. 43）
269	記念物	史跡	宮嶋城跡			三雲		平松区史（P. 44）
270	記念物	史跡	高木伊勢守一族の墓			三雲	高木伊勢守一族は平松の代官である。	平松区史（P. 76）、甲西町志（P. 379）、わがまちの文化財（P. 70）、甲西の石造美術（P. 53）
271	記念物	史跡	奥村亜溪・志宇の墓		文政3年	三雲	文化・文政期の俳人夫婦で平松の大官を勤めていた奥村亜溪・志宇夫婦の墓である。	平松区史（P. 82）、甲西町志（P. 379）、わがまちの文化財（P. 66）、甲西の石造美術（P. 53）
272	記念物	史跡	石引き山の古墳			三雲		三雲区歴史・史跡・石塔・文化財(P. 10)、甲西の石造美術（P. 66）
273	記念物	史跡	日雲宮址			三雲		三雲区歴史・史跡・石塔・文化財(P. 11)
274	記念物	史跡	茶城山遺跡			三雲	円墳が4基あり、横穴式石室をもつ。	甲西町誌（P. 88）
275	記念物	史跡	関照寺遺跡			三雲	延暦24年（806年）最澄創建と称す。	甲西町誌（P. 88）
276	記念物	史跡	万里小路藤房卿遺跡			三雲	五輪塔一基である。	甲西町誌（P. 421）
277	記念物	史跡	藤本熊吉の墓	1	明治22年（1889年）	三雲	草津と三雲間に鉄道工事中に伝染病にかかり亡くなった人物の墓である。	ふるさとのいしぶみ(P. 16)、甲西の石造美術（P. 51）
278	記念物	史跡	石仏・石塔	1	神亀元年（724年）	三雲		甲西の石造美術（P. 34）
279	記念物	史跡	墓碑	1	宝永5年（1708年）	三雲	「鳥八旧」と刻まれた墓碑である。	甲西の石造美術(P. 50)
280	記念物	史跡	三雲氏の墓碑	5		三雲		甲西の石造美術(P. 50)
281	記念物	史跡	陪塚古墳（丁字古墳か）			三雲	大きい塚と小さい塚があったそうだが、小さい塚は削られてすでにない。	甲西の石造美術(P. 67)

282	記念物	史跡	柑子袋 円福寺跡		明治時代（1873年）	三雲	明治6年（1873）に廃寺となり、地藏尊の堂のみ残る。	甲西町誌（P. 392）
283	記念物	史跡	黒橋跡			三雲	幅員 4 m ほどの木の橋が泉地先に掛けられていた。現在は橋脚の跡のみわずかに見ることができる。	甲西町誌（P. 525）
284	記念物	名勝	不動の滝			三雲		三雲区歴史・史跡・石塔・文化財 (P. 30)
285	記念物	名勝	瓢箪池			三雲		三雲区歴史・史跡・石塔・文化財 (P. 45)
286	記念物	名勝	石庭	1	平成14年	三雲	方丈の庭園で、方丈裏、竹林と滝を借景とする石庭である。	妙感寺史（P. 314）
287	記念物	名勝	岩石園	1		三雲	各地方の特色ある岩石を集めて配置している。岩石の産地を記しており、理科・社会で使われている。	甲西の石造美術 (P. 61)
288	記念物	天然記念物	コビワコカタバリ タニシ			三雲		琵琶湖博物館研究調査報告（P. 153付箋あり）
289	記念物	天然記念物	ザクロ石			三雲		琵琶湖博物館研究調査報告（P. 198付箋あり）
290	記念物	天然記念物	妙感寺の古生層			三雲	マンガン鉱物が多く含まれており、昔マンガン鉱が採掘されていた。	甲西町誌（P. 34）
291	記念物	天然記念物	オオバラモミ、シキシマサワグルミ（植物化石）			三雲		甲西町誌（P. 40）
292	記念物	天然記念物	金明水			三雲	現在は落ち葉が沈んでいるため汚れた感じがするが、名水の一つである。かつては明治天皇も御行幸の硯に飲まれたという。	甲西の石造美術 (P. 68)
293	記念物	天然記念物	八丈岩（夫婦岩）			三雲		甲西の石造美術 (P. 68)、わがまちの文化財（P. 36）、甲西路を行く（P. 113）
294	その他の文化財	伝承	五郎左衛門岩の話（創作民話）			三雲		平松区史（P. 89）
295	その他の文化財	伝承	五郎左衛門岩の話その2（創作民話）			三雲		平松区史（P. 92）
296	その他の文化財	伝承	身代わり観音の話			三雲		平松区史（P. 94）
297	その他の文化財	伝承	放生池の話			三雲		平松区史（P. 97）
298	その他の文化財	伝承	夜泣き地藏の話			三雲		平松区史（P. 100）
299	その他の文化財	伝承	蛇の宮の話			三雲		平松区史（P. 103）
300	その他の文化財	人物の功績に関するもの	八田四郎治君遺績碑		昭和3年（1928年）	三雲	八田四郎治氏の植林の努力を顕彰する石碑である。	滋賀県の近代化遺産（P. 251）、ふるさとのいしぶみ（P. 31）、甲西の石造美術（P. 17）

番号	文化財類型	種別	名称	員数	時代	地区	備考	出典
1	有形文化財	建造物	磨崖の五輪塔			菩提寺	歴史の小径を尾根に沿って進んだ先にある。全部で計5基中1基が未完となっている。	甲西町誌（P.400）、甲西の石造美術（P.33）、わがまちの文化財（P.170）、菩提寺の歴史4-（19）、菩提寺アンケートpdf（P2）
2	有形文化財	建造物	和田神社	1	大正11年（1922年）	菩提寺	境内には愛宕神社もある（文政8年に創立、昭和48年に改修）。第45代聖武天皇の叡願を受け良弁が小菩提寺を回帰した、その一山の3つの守護神のひとつ「祇園天王社」が始まりである。	甲西路をいく（P.3）、菩提寺アンケートpdf（P8）
3	有形文化財	建造物	西應寺	1	永正17年（1520年）	菩提寺	円満山少菩提寺の禅祥坊義全が実如に帰依し、禅祥坊専源と改め永正17年に西應寺を建立した。	甲西路をいく（P.5）、近江のざらし行（P.138）、甲西町誌（P.365）
4	有形文化財	建造物	阿弥陀院	1		菩提寺	円満山少菩提寺三十六僧坊の一つである阿弥陀院が焼失した後、浄土宗に改修して現在地に転地、再建された。	甲西路をいく（P.11）、甲西町誌（P.366）、近江のざらし行（P.138）
5	有形文化財	建造物	正念寺	1	文明14年（1482年）	菩提寺	乾五郎左衛門尉秀盛が蓮如に帰依し、円満山少菩提寺の一坊である東光坊跡地に正念寺を開基した。	甲西路をいく（P.15）、甲西町誌（P.367）
6	有形文化財	建造物	斎神社	1	天平3年（731年）	菩提寺	僧良弁が般若台院少菩提寺を創立した際に、その守護神として建立された3社のうちの一社である。	甲西路をいく（P.17）、甲西町誌（P.350）、近江のざらし行（P.139）、菩提寺アンケートpdf（P7）
7	有形文化財	建造物	石橋			菩提寺	欄干と橋板が1つの石から切り出されている。	菩提寺アンケートpdf（P2）
8	有形文化財	建造物	法華塔			菩提寺	納骨や經典の納経に使われている	菩提寺アンケートpdf（P2）
9	有形文化財	建造物	石灯籠	1対		菩提寺	宝暦13年（1763）の刻印がある。	菩提寺アンケートpdf（P3）
10	有形文化財	建造物	龍王神社（龍神社）			菩提寺	昭和50年（1975）頃・平成25年（2013）頃に屋形を建て替えている。雨乞い神事を行っている。	菩提寺アンケートpdf（P7）
11	有形文化財	建造物	鎮守神社			菩提寺	区内2町内会が護持管理、斎神社の氏子も兼ねる。摂社の愛宕社は京都の愛宕神社の末社である。また、摂社の似来野社はイワタニから北山台までの地域に祀られていた社を移築している。	菩提寺アンケートpdf（P7）
12	有形文化財	建造物	稲荷神社			菩提寺	元禄11年内藤氏陣屋敷鬼門に創建した。現在は菩提寺区で管理している。	菩提寺アンケートpdf（P8）
13	有形文化財	建造物	石造鳥居			菩提寺	柱が六角柱である。八王子村（現サイドタウン）にあったが、土砂に埋もれたものを現在の位置に遷した。	甲西町誌（P.353）、菩提寺アンケートpdf（P1）
14	有形文化財	建造物	庫裡	1	昭和38年	菩提寺		甲西町誌（P.366）
15	有形文化財	建造物	太鼓堂茶所	1	昭和46年	菩提寺		甲西町誌（P.366）
16	有形文化財	建造物	菩提禅寺	1	享保8年（1723年）	菩提寺	円満山少菩提寺三十六僧坊の一つである阿弥陀院の跡地に道律が創立した。当初は正禅庵と称した。	近江のざらし行（P.138）、甲西町誌（P.365）
17	有形文化財	建造物	八王子神社（摂社に愛宕社、宇賀魂社）			菩提寺	以前はサイドタウンあたりの八王子村に鎮座していたが、土砂の流出で埋没し、鳥居の上部がわずかに出ている状態であった。その後、油屋の意向で現在の位置に遷宮された。	近江のざらし行（P.138）、菩提寺アンケートpdf（P8）
18	有形文化財	絵画	良弁の絵図			菩提寺		甲西町誌（P.366）
19	有形文化財	彫刻	磨崖の地藏尊	1		菩提寺	歴史の小径を尾根に沿って進むと旧墓地側の焼き場にある。	菩提寺アンケートpdf（P2）
20	有形文化財	彫刻	石仏群、小仏群			菩提寺		甲西の石造美術（P.38）
21	有形文化財	彫刻	石仏		永正16年（1519年）	菩提寺		菩提寺の歴史4－（1）、甲西路をいく（P.1）
22	有形文化財	彫刻	石造地藏菩薩立像	1	永正16年（1519年）	菩提寺	舟形光背 永正16年（1519）銘8月 時正行重 「三界万灵」「法界衆生」像高114cm 光背185cm	菩提寺アンケートpdf（P2）
23	有形文化財	彫刻	旧墓地の阿弥陀仏			菩提寺	いたるところに散在していた。明治15年の政令にて現在の共同墓地に集約される。	菩提寺アンケートpdf（P2）
24	有形文化財	彫刻	親鸞聖人修行像	1基		菩提寺		菩提寺アンケートpdf（P3）
25	有形文化財	彫刻	阿弥陀如来立像			菩提寺		菩提寺アンケートpdf（P9）
26	有形文化財	工芸品	旗	2	文明元年（1469年）	菩提寺	古金襴で造られ、一つは約120cm、もう一つは30cmの大きさである。	甲西町誌（P.351）
27	有形文化財	工芸品	太刀		江戸時代（1688年）	菩提寺	国友の作の太刀である。	甲西町誌（P.351）
28	有形文化財	工芸品	灯籠の火袋			菩提寺		甲西町誌（P.366）、菩提寺の歴史3-（3）
29	有形文化財	工芸品	梵鐘		昭和22年	菩提寺		甲西町誌（P.366）
30	有形文化財	工芸品	梵鐘	1	室町時代	菩提寺		甲西町誌（P.367）、菩提寺の歴史3-（4）、菩提寺アンケートpdf（P9）
31	有形文化財	工芸品	太鼓 正徳の銘			菩提寺		甲西町誌（P.368）、菩提寺の歴史3-（4）
32	有形文化財	工芸品	鰐口		元禄13年（1700年）	菩提寺		菩提寺の歴史3-（5）
33	有形文化財	工芸品	灯籠	3	大正10年（1921年）	菩提寺	大正10年に参道が修理された記念につくられた。	菩提寺の歴史4－（2）
34	有形文化財	工芸品	梵鐘			菩提寺	宗祖750回大御遠忌記念に新しく鋳直された。	菩提寺の歴史4－（6）
35	有形文化財	工芸品	石灯籠	1対	宝暦13年（1764年）	菩提寺		菩提寺の歴史4－（25）
36	有形文化財	書跡	六字、九字名号軸			菩提寺	大燈大師の筆である。	甲西町誌（P.366）、菩提寺の歴史3-（3）
37	有形文化財	書跡	山号額			菩提寺	藤原経定の筆である。	甲西町誌（P.366）、菩提寺の歴史3-（3）
38	有形文化財	書跡	伊地知鉄翁の短冊、軸			菩提寺	伊地知鉄翁の遺品。阿弥陀院にはお墓がある。鉄翁は木内石亭の弟子であり、服部末石亭と共に全国を歩いた一人	わがまちの文化財（P.154）、菩提寺の歴史4-（11）

番号	文化財類型	種別	名称	員数	時代	地区	備考	出典
39	有形文化財	古文書	第六世頓世あて本願寺教如書簡など7通	7		菩提寺		甲西町誌（P. 368）
40	有形文化財	古文書	夢望庵所蔵文書			菩提寺	正念寺前往職収集文書である。現在整理分類作業中である。	菩提寺アンケートpdf（P9）
41	有形文化財	歴史資料	婦人開墾田の碑	1		菩提寺		滋賀県の近代化遺産（P. 251）
42	有形文化財	歴史資料	桜井梅室の句碑、三好赤甫の筆	複数		菩提寺		甲西町誌（P. 366）、甲西町の文学碑（P. 52）、菩提寺の歴史3-（3）
43	有形文化財	歴史資料	菩提寺由緒書			菩提寺		甲西町誌（P. 366）
44	有形文化財	歴史資料	江戸期歌人俳人遺墨			菩提寺		甲西町誌（P. 368）、菩提寺の歴史3-（4）
45	有形文化財	歴史資料	実成師華道遺徳碑			菩提寺		甲西町誌（P. 368）、菩提寺の歴史3-（4）
46	有形文化財	歴史資料	糸図菩提寺由緒書			菩提寺		甲西町誌（P. 368）、菩提寺の歴史3-（4）
47	有形文化財	歴史資料	芭蕉、高桑闌更、近藤精果の句碑	各1基		菩提寺		ふるさとのいしぶみ（P. 90）、甲西町の文学碑（P. 61, 64, 67）、甲西町誌（P. 368）、甲西町の文学碑（P. 62）、菩提寺の歴史（4）
48	有形文化財	歴史資料	顕彰碑	1	大正4年（1915年）	菩提寺	華道を極めた正念寺第17代目住職実成の門弟らが建立した顕彰碑である。「是花蔭」と刻まれている。	ふるさとのいしぶみ（P. 92）
49	有形文化財	歴史資料	菩提寺砂防の碑	1	大正12年（1923年）	菩提寺		ふるさとのいしぶみ（P. 94）、菩提寺の歴史4-（21）
50	有形文化財	歴史資料	婦人会開墾記念碑	1	昭和13年（1938年）	菩提寺	戦時中の食糧困難時に菩提寺婦人会の人々が荒れ地を耕し田を開墾したことを記念して建てられた碑である。	ふるさとのいしぶみ（P. 96）、菩提寺の歴史4-（22）
51	有形文化財	歴史資料	石碑	1		菩提寺	「薬師霊水」と刻まれている。	ふるさとのいしぶみ（P. 104）、甲西の石造美術（P. 12）、菩提寺の歴史4-（26）
52	有形文化財	歴史資料	斎神社の古文書（由緒書）	1	文明元年（1469年）	菩提寺		わがまちの文化財（P. 152）、菩提寺の歴史4-（10）
53	有形文化財	歴史資料	名号碑	1	享保19年（1734年）	菩提寺	蓮如上人筆の名号碑である。	わがまちの文化財（P. 160）、甲西の石造美術（P. 49）、菩提寺の歴史4-（14）
54	有形文化財	歴史資料	名号碑	1	宝暦2年（1752年）	菩提寺	蓮如上人筆の名号碑である。	わがまちの文化財（P. 164）、甲西の石造美術（P. 48）、菩提寺の歴史4-（16）
55	有形文化財	歴史資料	自作石庭の石秋の句碑	1	近年	菩提寺	寺村正三郎（雅号：石秋）の句が刻まれた碑である。	甲西町の文学碑（P. 50）、甲西の石造美術（P. 14）
56	有形文化財	歴史資料	岩根小からの分離独立の詩碑	1	昭和54年（1979年）	菩提寺		甲西町の文学碑（P. 56）、甲西の石造美術（P. 25）
57	有形文化財	歴史資料	校歌碑	1	平成3年（1991年）	菩提寺		甲西町の文学碑（P. 58）
58	有形文化財	歴史資料	石碑	1		菩提寺	山神と刻まれた碑である。菩提寺には山神をお祭りしている人がいる。	甲西の石造美術（P. 12）
59	有形文化財	歴史資料	圃場整備竣工 記念之碑	1		菩提寺		甲西の石造美術（P. 24）
60	有形文化財	歴史資料	牛之宮跡と刻まれた石碑	1		菩提寺	古くから小さい古墳のようなものがあり、そこを地域の人は「牛の宮」「午の宮」と呼んだ。	甲西の石造美術（P. 24）
61	有形文化財	歴史資料	元標の基石	1		菩提寺	村落の中心地からの距離を示す元標という木柱をさしこむ石である。	甲西の石造美術（P. 28）
62	有形文化財	歴史資料	護国之英霊の碑	1		菩提寺	石碑に刻まれた文字は正念寺大十八世の遺墨である。	甲西の石造美術（P. 42）
63	有形文化財	歴史資料	六字名号碑	1	元文2年（1737年）	菩提寺		甲西の石造美術（P. 48）
64	有形文化財	歴史資料	社碑		大正11年（1922年）	菩提寺		菩提寺の歴史4－（2）
65	有形文化財	歴史資料	青木氏の過去帳		天正10年（1582年）	菩提寺		菩提寺の歴史4－（6）
66	有形文化財	歴史資料	青木氏の位牌		天正10年（1582年）	菩提寺		菩提寺の歴史4－（6）
67	有形文化財	歴史資料	石碑	1		菩提寺	「教如上人御旧跡」と刻まれている。石山合戦時に菩提寺門徒として本願寺に組し、兵糧を送った功により当時門主である教如から直筆の礼状が届いたことと関係がある。	菩提寺の歴史4－（8）、菩提寺アンケートpdf（P3）
68	有形文化財	歴史資料	石碑	1		菩提寺	自然石に「御除地殺生禁制」と彫られている。	菩提寺の歴史4－（8）、4-（25）、菩提寺アンケートpdf（P3）
69	有形文化財	歴史資料	龍池佐市・龍池藤右衛門の墓			菩提寺	寛延元年（1748年）の名号石を墓としている。	菩提寺の歴史4－（14）
70	有形文化財	歴史資料	芭蕉句碑			菩提寺		淡海の芭蕉句碑上（P. 55）
71	民俗文化財	有形の民俗文化財	道標	1		菩提寺	「右 いしべ 左 正ふくじ」と刻まれている小さい道標である。	ふるさとのいしぶみ（P. 100）、菩提寺の歴史4-（24）
72	民俗文化財	有形の民俗文化財	道標	1		菩提寺	表面に「右 かうか坂、左 八まん道」と刻まれている。	わがまちの文化財（P. 172）、甲西の石造美術（P. 8）、菩提寺の歴史4-（20）
73	民俗文化財	有形の民俗文化財	道標	1		菩提寺	表面に「右 八まん、左 さくら」と刻まれている。	わがまちの文化財（P. 172）、甲西の石造美術（P. 8）、菩提寺の歴史4-（20）
74	民俗文化財	有形の民俗文化財	道標	1		菩提寺	表面に「左 水口道」と刻まれている。山本厳氏が保管しており、もともとあった場所は圃場整備により不明である。	甲西の石造美術（P. 8）
75	民俗文化財	有形の民俗文化財	化け灯籠の道標	1		菩提寺	表面に「金毘羅大権現 左さくら」と刻まれている。	甲西の石造美術（P. 8）
76	民俗文化財	有形の民俗文化財	道標の常夜灯	1		菩提寺	正面に「大神宮」と刻まされ、その下部に「右いしべ 左いづみ 水口道」と刻まれている。	甲西の石造美術（P. 8）
77	民俗文化財	有形の民俗文化財	手水鉢	1	天保13年（1842年）	菩提寺		菩提寺の歴史4－（2）
78	民俗文化財	有形の民俗文化財	石の地藏尊	3		菩提寺	1m60cmの大きな地藏が3体並んでいる。	菩提寺の歴史4－（15）
79	民俗文化財	無形の民俗文化財	菩提寺の竜王祭り			菩提寺	毎年7月8日に行っている。	滋賀県の自然神信仰（P. 153）

番号	文化財類型	種別	名称	員数	時代	地区	備考	出典
80	民俗文化財	無形の民俗文化財	雨乞い神事			菩提寺	毎年7月初旬に行う。区役員が八王子神社境内の摂社である宇賀魂神社の参拝の後、登山して、神社招き祝詞神事を行う。その際、阿弥陀院門前の薬師霊水を持参して供える。	菩提寺アンケートpdf（P7）
81	民俗文化財	無形の民俗文化財	地藏盆			菩提寺	境内の地藏尊を飾り付け、法要、本堂にて法話や茶話会を実施し、子供にお菓子等を振る舞う。	菩提寺アンケートpdf（P12）
82	民俗文化財	無形の民俗文化財	さんやれ祭り			菩提寺	毎年4月28日前後に行う例大祭である。境内鳥居右わきの小径を進み、小高い丘にあるご神木（サンヤレ櫨）のふもとで祝詞神事を行う。ここ数年はコロナのため開催なし。	菩提寺アンケートpdf（P12）
83	記念物	史跡	寺屋敷古墳			菩提寺		甲西町誌（P. 88）
84	記念物	史跡	鉄翁の墓			菩提寺		わがまちの文化財（P. 154）、菩提寺の歴史4-(11)
85	記念物	史跡	真野主計の墓碑	1	宝暦13年（1763年）	菩提寺	中世から近世にかけて菩提寺にいた真野氏の墓地に真野主計の墓碑があり、「孝子信義泣血奉立」と刻まれている。	甲西の石造美術（P. 56）
86	記念物	史跡	内藤加賀守の墓	1		菩提寺	菩提寺、妙感寺などを領地としていた内藤一族の墓である。	甲西の石造美術（P. 56）
87	記念物	史跡	青木一族の墓	1	寛文7年（1667年）	菩提寺	菩提寺城の城主であった青木一族の墓である。	甲西の石造美術（P. 56）
88	記念物	史跡	古墳（寺屋敷古墳か）	4	5世紀後期か	菩提寺	藤堂製作所（菩提寺2104-1）手前にあった4基の古墳である。	甲西の石造美術（P. 67）
89	記念物	史跡	坂上田村麻呂の墓（山の神古墳）			菩提寺	鶴が下といわれる地域にある森の中心部にある古墳である。「山神」と彫られた小さな石が残っている。	菩提寺の歴史4－（4）
90	記念物	史跡	少菩提寺遺跡		天平年間	菩提寺	天平年間、良弁創建という大寺院で37僧坊を数える大寺院であったが、石造多宝塔、地藏尊三体、閻魔象が残存している。元亀（1570年）の兵乱によってすべて焼失し、現在では廃寺になっているが、西応寺、阿弥陀院、正念寺等が僧坊跡跡地等に再建されている。	甲西の遺跡（P. 13）
91	記念物	史跡	寺屋敷古墳群1～3			菩提寺	菩提寺山山中とその周辺にある横穴式石室古墳群である。 1つ目：多宝塔前の歴史の小径を進むと尾根伝いにある丘状台状の高い塚である。 2つ目：玄室はほとんど埋まっている、県道造成のために天井石を割って転用している。 3つ目：玄室の土砂流出で側壁が崩れ、天井石が崩れ落ちている。	菩提寺アンケートpdf（P4）
92	記念物	史跡	缶子塚古墳			菩提寺	北山台団地のはずれ付近、坂上田村麻呂の祖父の墓である。開発で墳はなくなり、六字名号石碑が建立された。	菩提寺アンケートpdf（P4）
93	記念物	史跡	青木孫九郎屋敷跡			菩提寺	屋敷跡は名神高速道路の取付道路で中央で分断された。大部分は整地され、土塁などの遺構はわずかしかない。	菩提寺アンケートpdf（P6）
94	記念物	天然記念物	野洲花岡岩の輝水鉛鉱			菩提寺		琵琶湖博物館研究調査報告（P. 204付箋あり）
95	記念物	天然記念物	狐岩	1		菩提寺	菩提寺にある巨岩、奇岩の一つである。 古い書物では「陰門岩」「大耳の岩」と紹介されている。	甲西の石造美術（P. 69）
96	記念物	天然記念物	鼻白岩	1		菩提寺	菩提寺にある巨岩、奇岩の一つである。 地域の人は遠くから見ると岩の鼻が白く見えるため、「鼻白岩」と呼ぶ。	甲西の石造美術（P. 69）
97	記念物	天然記念物	仏足跡岩	1		菩提寺	菩提寺にある巨岩、奇岩の一つである。仏足石のような姿の白い模様がある。 寛政年間の書物「雲根志」に記載があることから、昔から学者たちに知られている岩である。	甲西の石造美術（P. 70）
98	記念物	天然記念物	波岩	1		菩提寺	石灰石が交じって波打つように見える奇岩である。西應寺が保存する菩提寺の古図にも記載がある。	甲西の石造美術（P. 70）
99	記念物	天然記念物	良弁岩			菩提寺		菩提寺の歴史4－（3）
100	記念物	天然記念物	笥の石			菩提寺		菩提寺の歴史4－（3）
101	記念物	天然記念物	手洗いの石			菩提寺		菩提寺の歴史4－（3）
102	記念物	天然記念物	薬師湯			菩提寺	阿弥陀院にかつて薬師堂があり、その一連の施設、薬師霊水は雨ごいに霊験があった。	菩提寺の歴史4－（6）、菩提寺アンケートpdf（P3）
103	その他の文化財	人物の功績に関するもの	砂防竣工記念碑	1	大正12年頃（1923年）	菩提寺	龍池藤兵衛の活躍により完成した砂防工事を記念して建てられた「梵兮葱兮」（はげ山が青くなったの意味）の碑である。	滋賀県の近代化遺産（P. 250）、鈴木儀平の菩提寺歴史散歩（P. 153）
104	その他の文化財	人物の功績に関するもの	井上嘉吉氏の顕彰碑	1	平成24年（2012）9月4日	菩提寺	井上嘉吉氏の業績が書かれた碑である。「汝此舟にて渡れり」と記載がある。	
105	その他の文化財	人物の功績に関するもの	枝垂桜	1		菩提寺	永年にわたり山檜の苗木の供給をしていた三重県から謝恩の記念として送られた2本のうちの1本が斎神社にある。なお、もう1本は龍池藤兵衛が苦難を分かち合った村人とともに八重谷峠の山上に植樹している。	近江を築いた人々下（P. 53）

番号	文化財類型	種別	名称	員数	時代	地区	備考	出典
1	有形文化財	建造物	岩根小学校給食センター（旧岩根村役場）	1	昭和5年（1930年）	岩根		滋賀県の近代化遺産（P. 250）
2	有形文化財	建造物	洪水量点標	1	明治29年（1896年）	岩根	明治29年に発生した大洪水時の水位を示した石碑である。	滋賀県の近代化遺産（P. 250）、ふるさとのいしぶみ（P. 83）、甲西の石造美術（P. 22）
3	有形文化財	建造物	洪水量点標	1	明治29年（1896年）	岩根	明治29年に発生した大洪水時の水位を示した石碑である。道路改修とともに岩根東公民館を経て現在の位置に移された。	滋賀県の近代化遺産（P. 250）、甲西の石造美術（P. 22）、ももづてのさと（P. 103）
4	有形文化財	建造物	農協岩根支所（旧甲賀銀行か）	1		岩根		滋賀県の近代化遺産（P. 250）
5	有形文化財	建造物	正福寺本堂	1	江戸時代中期	岩根	奈良、平安時代には七堂伽藍を構え、隆盛を極めた。	滋賀県の近世社寺建築（P. 231）、新修石部町史 通史編（P. 85）
6	有形文化財	建造物	高倉神社拝殿	1	江戸時代初期	岩根		滋賀県の近世社寺建築（P. 64）、甲西町誌（P. 356）
7	有形文化財	建造物	藤谷永久家	1	文政10年（1827年）	岩根	桁行13.8m、梁間10.0m、つし二階建、切妻造、棧瓦葺、平入、大工徳三郎藤谷家は19世紀前期には庄屋を務め、明治初期には酒造業を営んでいた。敷地は東西に長く、南面はほぼ中央に門を開き、その東にうまや、倉庫（旧酒蔵）が続く。主屋は中央北側に南面して建ち、東に離れがあつて、南の蔵と繋がれる。主屋の西に土蔵、その西にも離れ座敷があり、離れ座敷の南に庭を造る。	滋賀県の近世民家（P. 149）
8	有形文化財	建造物	加茂神社		建久 8 年（1197年）	岩根	鴨長明の夢告によって建立された神社である。	甲西町誌（P. 359）、甲西路を行く（P. 69）
9	有形文化財	建造物	五輪の石塔	1		岩根		わがまちの文化財（P. 110）
10	有形文化財	建造物	宝篋印塔	1		岩根		わがまちの文化財（P. 110）
11	有形文化財	建造物	石造大鳥居	1		岩根	高倉神社に向かう道にある。	わがまちの文化財（P. 118）
12	有形文化財	建造物	石塔	1	天明2年（1782年）	岩根		わがまちの文化財（P. 148）
13	有形文化財	建造物	川田神社	1		岩根		甲西路をいく（P. 21）、近江のざらし行（P. 139）
14	有形文化財	建造物	多宝塔	1	約500年前	岩根		甲西路をいく（P. 21）
15	有形文化財	建造物	太鼓橋	1		岩根	紀元2600年記念で造られた橋である。石板15枚を組んで半球状で造っている。	甲西路をいく（P. 57）
16	有形文化財	建造物	真願寺		大正12年（1923年）	岩根	多賀町にあったものが現在地に移転された。	甲西路をいく（P. 61）
17	有形文化財	建造物	高德神社本殿			岩根	大宝年間に秦澄が花園寺を山中に建立した際に、その寺の守護神として創建された神社であるという。	甲西路をいく（P. 63）、甲西町誌（P. 356）
18	有形文化財	建造物	校門の石柱	4		岩根	100年前に建てられた校門の石柱が4本残っている。	甲西の石造美術（P. 62）
19	有形文化財	建造物	旧三上藩陣屋の表門	1		岩根		近江天保一揆とその時代（P. 32）
20	有形文化財	建造物	貴船神社			岩根		改訂 湖南市都市計画マスタープラン（P. 78）
21	有形文化財	建造物	善水寺鐘楼	1	寛文元年（1661年）	岩根	東愚法師が鐘を鋳造し、鐘楼を建立した。	ももづてのさと（P. 88）
22	有形文化財	建造物	善水寺行者堂			岩根		ももづてのさと（P. 232）
23	有形文化財	建造物	善水寺観音堂			岩根		ももづてのさと（P. 233）
24	有形文化財	建造物	善水寺大師堂			岩根		ももづてのさと（P. 233）
25	有形文化財	建造物	善水寺六所権現社			岩根		ももづてのさと（P. 233）
26	有形文化財	建造物	常永寺六角堂			岩根		ももづてのさと（P. 233）
27	有形文化財	建造物	不動寺			岩根		改訂 湖南市都市計画マスタープラン（P. 78）
28	有形文化財	建造物	常永寺			岩根		改訂 湖南市都市計画マスタープラン（P. 78）
29	有形文化財	建造物	北条時頼の宝篋印塔			岩根		朝国まとめpdf
30	有形文化財	建造物	鍛冶音商店跡	1		岩根	近代以降の村の鍛冶屋として、歴史・民族的に貴重な資料となっている。	滋賀県の近代化遺産（P. 75）
31	有形文化財	建造物	五輪塔	1		岩根		わがまちの文化財（P. 126）
32	有形文化財	建造物	五輪塔	1		岩根		甲西の石造美術（P. 40）
33	有形文化財	建造物	石鳥居	1		岩根		甲西の石造美術（P. 63）
34	有形文化財	建造物	岩瀬神社			岩根		近江のざらし行（P. 141）
35	有形文化財	建造物	正栄寺			岩根		近江のざらし行（P. 142）
36	有形文化財	建造物	正法寺			岩根		近江観音の道（P. 36）
37	有形文化財	絵画	涅槃図絹本		宝暦 4 年（1754年）	岩根		甲西町誌（P. 373）
38	有形文化財	絵画	仁龍の軸	1	昭和18年（1943年）	岩根	仁龍は柑子袋の愍念寺16代の号である。	わがまちの文化財（P. 116）
39	有形文化財	彫刻	二宮金次郎像	1	昭和13年（1938年）	岩根		滋賀県の近代化遺産（P. 250）

40	有形文化財	彫刻	薬師如来			岩根		甲西町誌（P. 368）
41	有形文化財	彫刻	弁財天		天長 7 年（730年）	岩根		甲西町誌（P. 373）
42	有形文化財	彫刻	釈迦三尊			岩根	磨崖仏である。	甲西町誌（P. 400）
43	有形文化財	彫刻	十一面千手観音像	1		岩根	弘法大師作という言い伝えがある。	わがまちの文化財（P90）、朝国まとめpdf
44	有形文化財	彫刻	毘沙門天像	1	江戸時代	岩根		わがまちの文化財（P90）、朝国まとめpdf
45	有形文化財	彫刻	不動明王像	1		岩根	後ろの盾が特に優秀で、ある時期に塗装し、1 か所補修した形跡がある。	わがまちの文化財（P90）、朝国まとめpdf
46	有形文化財	彫刻	磨崖仏阿弥陀如来像	1		岩根		わがまちの文化財（P. 106）
47	有形文化財	彫刻	一石六体地藏尊	1		岩根		わがまちの文化財（P. 128）、甲西の石造美術（P. 32）
48	有形文化財	彫刻	石仏	1		岩根	戦後に土中より発見された石仏である。	わがまちの文化財（P. 136）
49	有形文化財	彫刻	弥陀三尊石仏			岩根	一つの花崗岩に三尊が浮き彫りにされている。右が勢至菩薩、中央が阿弥陀如来、左が観音である。	甲西路をいく（P. 31）
50	有形文化財	彫刻	不動明王磨崖仏	1		岩根		甲西路をいく（P. 49）、ももつてのさと(P. 232)
51	有形文化財	彫刻	木造釈迦如来坐像	1	鎌倉時代	岩根		湖南地方の文化財№2(P. 101)
52	有形文化財	彫刻	石仏	複数		岩根	内田という地に墓地があり、そこに小さな石が散在している。	甲西の石造美術（P. 30）
53	有形文化財	彫刻	釈迦三尊の石仏	1		岩根		甲西の石造美術（P. 30）
54	有形文化財	彫刻	石仏	1		岩根	「榎」という小字の畑の中に埋まっていた古い石仏の一つである。	甲西の石造美術（P. 31）
55	有形文化財	彫刻	磨崖仏	1		岩根	五輪塔が彫られている。「ほうそうがみ」と俗に呼ばれている。	甲西の石造美術（P. 31）
56	有形文化財	彫刻	阿弥陀如来磨崖仏	1		岩根		甲西の石造美術（P. 32）、ももつてのさと(P. 232)
57	有形文化財	彫刻	磨崖仏	1		岩根		甲西の石造美術（P. 32）
58	有形文化財	彫刻	一石六体仏	1		岩根	縦長の一つの石に仏が三体ずつ二段で彫られている。	甲西の石造美術（P. 33）
59	有形文化財	彫刻	石仏	複数		岩根		甲西の石造美術（P. 36）
60	有形文化財	彫刻	小仏群			岩根		甲西の石造美術（P. 37）
61	有形文化財	彫刻	小仏群			岩根		甲西の石造美術（P. 37）
62	有形文化財	彫刻	小仏群			岩根		甲西の石造美術（P. 37）
63	有形文化財	彫刻	小仏群			岩根		甲西の石造美術（P. 37）
64	有形文化財	彫刻	石仏	複数		岩根		甲西の石造美術（P. 38）
65	有形文化財	彫刻	釈迦立像	1		岩根		ももつてのさと(P. 66)
66	有形文化財	彫刻	役行者像			岩根		ももつてのさと(P. 233)
67	有形文化財	彫刻	黄金仏	1		岩根	一寸八分の仏様である。	朝国まとめpdf
68	有形文化財	彫刻	聖徳太子像	1	江戸時代か	岩根		朝国まとめpdf
69	有形文化財	彫刻	新平氏の宮田から出た黄金仏	1		岩根		朝国まとめpdf
70	有形文化財	工芸品	梵鐘		宝暦12年（1762年）	岩根		甲西町誌（P. 369）
71	有形文化財	工芸品	鐘		享保 5 年（1720年）	岩根		甲西町誌（P. 371）
72	有形文化財	工芸品	半鐘		享保 2 年（1717年）	岩根		甲西町誌（P. 373）
73	有形文化財	工芸品	石灯籠	複数		岩根		わがまちの文化財（P. 122）
74	有形文化財	工芸品	道しるべ灯籠	1	天保7年（1837年）	岩根	「右いつミ 水口道」と刻まれている。	わがまちの文化財（P. 144）
75	有形文化財	工芸品	カマド	1	明治25年（1892年）	岩根	お湯をあげるためのものである。正面に桐の紋がほられている。	甲西路をいく（P. 53）
76	有形文化財	工芸品	奉灯	1対	昭和16年、昭和15年	岩根	同じ石工が作った奉灯である。	甲西路をいく（P. 57）
77	有形文化財	工芸品	神灯ろう	2対	大正3年（1915年）	岩根		甲西路をいく（P. 58）
78	有形文化財	工芸品	石灯ろう	1対	弘化2年（1846年）	岩根		甲西路をいく（P. 60）
79	有形文化財	工芸品	春日灯ろう	1基	昭和時代	岩根		甲西路をいく（P. 60）
80	有形文化財	工芸品	石灯籠の道標	1		岩根	「左こんひら二丁」と刻まれており、笠の裏底に「東西南北」と刻まれている。	甲西の石造美術（P. 7）

81	有形文化財	工芸品	常夜灯	1	天保7年（1836年）	岩根	下部に「こんびら山 是ヨリー丁」「右いつみ、水口道」「天保七年丙申六月」とあり、当時の建立者の名も刻まれている。	甲西の石造美術（P. 7）
82	有形文化財	工芸品	常夜灯	1		岩根	「右京ヤス道 左田道」と右から左に刻まれている。	甲西の石造美術（P. 7）
83	有形文化財	工芸品	石灯籠	1	1408年もしくは1708年	岩根		甲西の石造美術(P. 59)
84	有形文化財	工芸品	石灯籠	1		岩根		甲西の石造美術(P. 59)
85	有形文化財	書跡	六字名号			岩根	裕天筆である。	甲西町誌（P. 373）
86	有形文化財	書跡	名体不離名号			岩根	源空筆である。	甲西町誌（P. 373）
87	有形文化財	書跡	棟札		文安 5 年（1448年）	岩根		甲西町誌（P. 370）
88	有形文化財	古文書	川田神社古文書	1	文明4年（1472年）	岩根		わがまちの文化財（P. 146）
89	有形文化財	古文書	貴船神社寄進状		南北朝時代	岩根		ももづてのさと(P. 62)
90	有形文化財	古文書	貴船神社文書			岩根		ももづてのさと(P. 73、78)
91	有形文化財	古文書	新嘗祭文書			岩根		ももづてのさと(P. 69)
92	有形文化財	古文書	山中家文書			岩根		ももづてのさと(P. 80、83、86)
93	有形文化財	古文書	浅野家文書			岩根		ももづてのさと(P. 85)
94	有形文化財	古文書	諏訪講文書			岩根		ももづてのさと(P. 94)
95	有形文化財	考古資料	仁王門跡の礎石		和銅年間（708～714年）	岩根		広報こうせい№395（P. 8）
96	有形文化財	歴史資料	明治33年榊岩井の係る文章			岩根	岩根と三雲の水争いについて書かれた資料である。	ももづてのさと(P. 104)
97	有形文化財	歴史資料	朝國岩根井水路標柱	1	昭和15年（1940年）	岩根	田地の水利の目印の石碑である。	滋賀県の近代化遺産（P. 250）、ふるさとのいしぶみ（P. 67）、甲西の石造美術（P. 21）
98	有形文化財	歴史資料	雨乞祭の碑	1	昭和14年（1939年）	岩根		滋賀県の近代化遺産（P. 250）、ふるさとのいしぶみ（P. 66）
99	有形文化財	歴史資料	忠魂碑	1	大正4年（1915年）	岩根		滋賀県の近代化遺産（P. 250）
100	有形文化財	歴史資料	正福寺由縁記	1	文明 4 年（1472年）	岩根		甲西町誌（P. 369）
101	有形文化財	歴史資料	前泉州守実相院殿の位牌		天正13年（1585年）	岩根		甲西町誌（P. 371）
102	有形文化財	歴史資料	徳川将軍綱吉の実母の位牌			岩根		甲西町誌（P. 374）、甲西路を行く（P. 65）
103	有形文化財	歴史資料	歌碑	1		岩根	下水工事の際に、石仏が発掘されたことを記念した歌碑である。	ふるさとのいしぶみ（P. 59）、甲西町の文学碑（P. 94）
104	有形文化財	歴史資料	岩根小学校校歌の碑	1	平成6年（1994年）	岩根		ふるさとのいしぶみ（P. 69）
105	有形文化財	歴史資料	芭蕉句碑	1	平成6年（1994年）	岩根	芭蕉没後300年を記念して建てられた碑である。	ふるさとのいしぶみ（P. 73）
106	有形文化財	歴史資料	石碑	1	昭和51年（1976年）	岩根	「正福寺古墳群」と刻まれている。	ふるさとのいしぶみ（P. 87）
107	有形文化財	歴史資料	六字名号碑	1	元禄2年（1689年）	岩根		わがまちの文化財（P. 92）
108	有形文化財	歴史資料	元標の石	1		岩根		わがまちの文化財（P. 93）、甲西の石造美術（P. 28）
109	有形文化財	歴史資料	殉難三五郎の碑	1		岩根	地域の人たちを助けようと立ち上がった南三五郎の供養碑で、当時は立てられず横にしたままであったが、昭和27年に現在の地に建てられた。	わがまちの文化財（P. 98）、甲西の石造美術（P. 54）、ももづてのさと(P. 92)
110	有形文化財	歴史資料	佐々木家の名号石	1		岩根	南近江守護六角義賢の花押がある。	わがまちの文化財（P. 108）、ももづてのさと(P. 83)
111	有形文化財	歴史資料	義民弥八の一軸	1	天保14年（1843年）	岩根		わがまちの文化財（P. 114）、近江天保一揆とその時代(P. 46)
112	有形文化財	歴史資料	御詠歌碑	1	平成元年（1989年）	岩根	青木氏一族の寄進により建てられたものか。	甲西町の文学碑（P. 70）
113	有形文化財	歴史資料	全城の歌碑	1	昭和6年（1931年）	岩根	全城は中村善四郎氏の雅号である。	甲西町の文学碑（P. 74）、甲西の石造美術（P. 13）
114	有形文化財	歴史資料	校歌碑	1	昭和62年？	岩根		甲西町の文学碑（P. 76）
115	有形文化財	歴史資料	岩根小からの分離独立の詩碑	1	昭和54年（1979年）	岩根		甲西町の文学碑（P. 80）、甲西の石造美術（P. 25）
116	有形文化財	歴史資料	詩碑	1	昭和40年（1965年）	岩根	すなおな子どもの叫びであり、飾らない児童の願望の誌が書かれている。	甲西町の文学碑（P. 82）
117	有形文化財	歴史資料	玄亀窟真岡の句碑	1	明治時代	岩根		甲西町の文学碑（P. 88）
118	有形文化財	歴史資料	真岡「ひざ枕」の歌碑	1	明治時代	岩根		甲西町の文学碑（P. 92）
119	有形文化財	歴史資料	社碑	1	昭和12年（1937年）	岩根		甲西路をいく（P. 53）
120	有形文化財	歴史資料	社碑	1	昭和11年（1936年）	岩根		甲西路をいく（P. 57）
121	有形文化財	歴史資料	手紙	5通	康永4年、文永元年、建治元年、正平9年など	岩根	貴船神社の社宝として伝えられている。	甲西路をいく（P. 58）
122	有形文化財	歴史資料	社碑	1	昭和7年（1932年）	岩根		甲西路をいく（P. 59）

123	有形文化財	歴史資料	毛髪 の軸		大正時代	岩根	光蓮法師が本堂建立のため勸進されたものの一つである。8万4千人の女性の毛髪を乞い集め、西陣に依頼し、その毛髪で阿弥陀如来の大きな軸を織り上げた。兵庫県に保管されている	甲西路をいく（P.61）
124	有形文化財	歴史資料	六字名号碑			岩根	筆者は徳本である。	甲西路をいく（P.63）
125	有形文化財	歴史資料	庚申塚	1		岩根		甲西の石造美術（P.12）
126	有形文化財	歴史資料	開拓道路記念の碑	1		岩根		甲西の石造美術（P.22）
127	有形文化財	歴史資料	復旧記念の石碑	1		岩根	昭和28年9月25日に襲った台風13号によって山津波の被害を受けた際に流れてきた巨岩の一つに「復旧記念」と刻まれた石碑である。	甲西の石造美術（P.23）
128	有形文化財	歴史資料	竣工記念碑	1		岩根		甲西の石造美術（P.24）
129	有形文化財	歴史資料	元標の石柱	1		岩根	元岩根村役場に横になったまま置いてあったが、現在は岩根小学校の片隅に建てられている。	甲西の石造美術（P.28）
130	有形文化財	歴史資料	元標の基石	1		岩根	もともとは公民館裏の旧道にあった。	甲西の石造美術（P.28）
131	有形文化財	歴史資料	弔魂碑	1	昭和28年（1953年）	岩根	岩根東遺族会が日清、日露、大東亜戦争の戦没者の霊を弔うために建てた。	甲西の石造美術（P.41）、ももづてのさと(P.113)
132	有形文化財	歴史資料	弔魂碑	1		岩根		甲西の石造美術（P.41）
133	有形文化財	歴史資料	忠霊碑	1	昭和30年（1955年）	岩根		甲西の石造美術（P.41）
134	有形文化財	歴史資料	忠魂碑	1		岩根		甲西の石造美術（P.42）
135	有形文化財	歴史資料	英霊碑	1		岩根		甲西の石造美術（P.42）
136	有形文化財	歴史資料	三界萬霊の碑	1	昭和3年（1928年）	岩根		甲西の石造美術（P.47）
137	有形文化財	歴史資料	六字名号碑	1	1661～1673年	岩根		甲西の石造美術（P.47）
138	有形文化財	歴史資料	六字名号碑	1	延宝3年（1677年）	岩根		甲西の石造美術（P.47）
139	有形文化財	歴史資料	六字名号碑及び地藏尊	1	大正15年（1926年）	岩根		甲西の石造美術（P.48）
140	有形文化財	歴史資料	六字名号碑	1	元禄9年（1697年）	岩根		甲西の石造美術（P.48）
141	有形文化財	歴史資料	納経碑	1	元禄3年（1691年）	岩根	表に「浄土大乘三部経」と刻まれている。	甲西の石造美術(P.54)
142	有形文化財	歴史資料	不動寺寺伝			岩根		ももづてのさと(P.89)
143	有形文化財	歴史資料	常永寺過去帳			岩根	最古の霊名は寛永元年。南三五郎の名前もある。	ももづてのさと(P.96)
144	有形文化財	歴史資料	うし神碑		昭和	岩根	農業の労力には欠かすことができなかった役牛に対し厚い信仰があったことを表す。	ももづてのさと(P.126)
145	有形文化財	歴史資料	雨乞いの碑			岩根		ももづてのさと(P.232)
146	有形文化財	歴史資料	習字の手習い教本			岩根		ももづてのさと(P.97)
147	民俗文化財	有形の民俗文化財	子安地藏			岩根		甲西町誌（P.369）、甲西路に行く（P.133）
148	民俗文化財	有形の民俗文化財	はなかけ地藏（道しるべ地藏さん）	1		岩根	両側に「右八まん道」「左あさくに」の文字が刻まれている。そのため「道しるべ地藏」とも呼ばれた。	わがまちの文化財（P.88）、甲西の石造美術（P.4）
149	民俗文化財	有形の民俗文化財	おこり石仏	1		岩根	おこりとは、一定の時間をおいて発熱し、一日おきに熱が出たり下がったりする病気のこと、この石仏祈ると治るといわれた。	わがまちの文化財（P100）、ももづてのさと（P.232）
150	民俗文化財	有形の民俗文化財	道標	1		岩根	「左 いわね道」と刻まれている。	わがまちの文化財（P.120）
151	民俗文化財	有形の民俗文化財	道標	1		岩根	正面に「左 いわねへ いつミ ミナくち」、側面に「右田みち」と刻まれている。	わがまちの文化財（P.120）
152	民俗文化財	有形の民俗文化財	道標	1		岩根	「右 正ふくい半り ほたひしーり やす・いしへ道」と刻まれている。	わがまちの文化財（P.120）
153	民俗文化財	有形の民俗文化財	手水鉢	1	元禄15年（1703年）	岩根		甲西路をいく（P.49）、ももづてのさと(P.91)
154	民俗文化財	有形の民俗文化財	手水鉢	1	正徳3年（1713年）	岩根		甲西路をいく（P.49）、ももづてのさと(P.91)
155	民俗文化財	有形の民俗文化財	お賽銭箱	1	昭和11年（1936年）	岩根		甲西路をいく（P.53）
156	民俗文化財	有形の民俗文化財	手水鉢	1	正徳5年（1716年）	岩根		甲西路をいく（P.60）
157	民俗文化財	有形の民俗文化財	道標		文化7年（1810年）	岩根	「左 三上妙道」と刻まれている。	甲西路をいく（P.64）
158	民俗文化財	有形の民俗文化財	道標	1		岩根	「右 三上妙見八まん道 左 あさくにみち すぐいせ道」と刻まれている。	甲西の石造美術（P.4）
159	民俗文化財	有形の民俗文化財	道標	1	文化7年（1810年）	岩根	「左 三上妙見三里」と刻まれている。	甲西の石造美術（P.4）
160	民俗文化財	有形の民俗文化財	道標	1	明治40年	岩根	「左 善水寺道」と刻まれている。	甲西の石造美術（P.5）
161	民俗文化財	有形の民俗文化財	道標	1		岩根	「神さんみち」と刻まれている。	甲西の石造美術（P.5）
162	民俗文化財	有形の民俗文化財	道標	1		岩根	「右柏木 水口左下田」と刻まれている。この道標を左へ進むと高倉神社に着く。	甲西の石造美術（P.5）
163	民俗文化財	有形の民俗文化財	道標	5		岩根	「右田みち 左いわね七丁、いづみーり みなくち二り」と刻まれている。	甲西の石造美術（P.6）
164	民俗文化財	有形の民俗文化財	道標	1	文化7年（1810年）	岩根	「左三上妙見□□」と刻まれている。	わがまちの文化財（P.96）

165	民俗文化財	有形の民俗文化財	手水鉢	1		岩根		甲西の石造美術 (P. 63)
166	民俗文化財	有形の民俗文化財	地藏			岩根		ももづてのさと (P. 232)
167	民俗文化財	有形の民俗文化財	地藏			岩根		ももづてのさと (P. 232)
168	民俗文化財	有形の民俗文化財	地藏			岩根		ももづてのさと (P. 233)
169	民俗文化財	有形の民俗文化財	地藏			岩根		ももづてのさと (P. 233)
170	民俗文化財	有形の民俗文化財	地藏			岩根		ももづてのさと (P. 233)
171	民俗文化財	有形の民俗文化財	みちしるべ地藏	1		岩根	下部に「右 いしべ 左 水口道」と刻まれている。	甲西の石造美術 (P. 5)
172	民俗文化財	有形の民俗文化財	みちしるべ地藏	1		岩根	「方誉西入 再建願主善髓」と地藏の隣に刻まれており、台石に「右八まん 左 京 やす道」と刻まれている。	甲西の石造美術 (P. 5)
173	民俗文化財	有形の民俗文化財	地藏堂横石仏（砂かけ地藏）			岩根		ももづてのさと (P. 232)
174	民俗文化財	無形の民俗文化財	金毘羅祭りの子ども相撲			岩根	毎年10月体育の日に行われる。	滋賀県の自然神信仰 (P. 246)
175	民俗文化財	無形の民俗文化財	嫁講（血盆講）		宝暦年間（1751～1763年）か	岩根	村に新しく嫁いだ嫁が3年間所属する。新嫁が12、3人揃うと講を結び、3年経つと南三五郎の墓参りで解講し、新しく観音講に入る。	甲西町誌 (P. 500)
176	民俗文化財	無形の民俗文化財	寒の水			岩根	旧暦12月8日に各家で前年に瓶などに入れた水を台所付近にまき、新しい水をくむ風習である。	ももづてのさと (P. 192)
177	民俗文化財	無形の民俗文化財	おちばがえり			岩根	天理教岩根分教会の行事であったが、信者の有無問わず集落内の子どもが参加した。	ももづてのさと (P. 192)
178	民俗文化財	無形の民俗文化財	へそ冷やし			岩根	婚礼の儀礼の一つである。仲人が改めて二人に席を設け、祝膳でもてなす。	ももづてのさと (P. 207)
179	民俗文化財	無形の民俗文化財	かまどみせ			岩根	婚礼の儀礼の一つである。親戚が新夫婦を初めて招待しもてなす。新しく家族の一員となったものに互いの家を開放する。	ももづてのさと (P. 207)
180	民俗文化財	無形の民俗文化財	足入れ婚			岩根	婚礼の儀礼の一つである。結納が済んでから挙式までの婚約期間中、娘が将来の嫁ぎ先に入り、家事、農事の手伝いなどを行う。	ももづてのさと (P. 207)
181	民俗文化財	無形の民俗文化財	両墓制			岩根	岩根東は埋葬をする墓地であるサンマイと、石塔を建てる墓地を持つ常永寺が別々にある両墓制をとっている。近年はサンマイにも石塔を建てる場合が増えてきた。昭和40年代に生活改善運動にて、人生儀礼全般が簡素化してきたが、葬儀に関する儀礼は形態を変えることなく受け継がれている。	ももづてのさと (P. 213)
182	民俗文化財	無形の民俗文化財	芋潰し			岩根	里芋と親頭、くず米と一緒に炊いて、潰して丸め団子にする。砂糖醤油や砂糖味噌などにつけて焼くと美味しいおやつになる。	ももづてのさと (P. 214)
183	民俗文化財	無形の民俗文化財	カキナス柿膾			岩根	秋に収穫した渋柿を干し柿にし、正月のお祝い事などに紅白のめでたさを表すため、大根人参を千切りにしたものを甘酢で和えて出した。	ももづてのさと (P. 214)
184	民俗文化財	無形の民俗文化財	花祭りの唄			岩根		ももづてのさと (P. 222)
185	民俗文化財	無形の民俗文化財	山登りの唄			岩根		ももづてのさと (P. 222)
186	民俗文化財	無形の民俗文化財	義経			岩根	手まりつきの唄である。	ももづてのさと (P. 222)
187	民俗文化財	無形の民俗文化財	いちりとランラン			岩根	手まりつきの唄である。	ももづてのさと (P. 223)
188	民俗文化財	無形の民俗文化財	加藤清正			岩根	手まりつきの唄である。	ももづてのさと (P. 223)
189	民俗文化財	無形の民俗文化財	手まりつきの唄			岩根		ももづてのさと (P. 223)
190	民俗文化財	無形の民俗文化財	不如帰			岩根	お手玉唄である。	ももづてのさと (P. 223)
191	民俗文化財	無形の民俗文化財	東郷大将の唄			岩根	お手玉唄である。	ももづてのさと (P. 224)
192	民俗文化財	無形の民俗文化財	ひとめふため			岩根	お手玉唄である。	ももづてのさと (P. 224)
193	民俗文化財	無形の民俗文化財	郵便屋さん			岩根	縄跳び唄である。	ももづてのさと (P. 224)
194	民俗文化財	無形の民俗文化財	子守唄			岩根		ももづてのさと (P. 224)
195	民俗文化財	無形の民俗文化財	雨乞いの唄			岩根		ももづてのさと (P. 224)
196	民俗文化財	無形の民俗文化財	観請縄（勧請吊り）			岩根	集落の入り口に勧請縄をつくる。病気等が入ってこないよう毎年作る。	滋賀県伝統食文化調査 (P. 161) 、ももづてのさと (P. 193)
197	記念物	史跡	常福寺跡			岩根	弥勒仏を本尊としていたようで、享保年間まであった。	甲西町誌 (P. 395)
198	記念物	史跡	永厳寺跡			岩根	昔の正福寺塔中の一坊であった。通称正福寺東の寺と呼ばれていた。今は参道とその寺跡のみとなり、基碑と小さな堂が残されている。	甲西町誌 (P. 394)
199	記念物	史跡	谷口春斎の墓	1		岩根	側面に歌碑が刻まれている。	甲西の石造美術 (P. 13)
200	記念物	史跡	岩根古墳群		古墳時代	岩根		滋賀県史跡、名勝、天然記念物調査報告概要 (P. 38)
201	記念物	史跡	塚のこし			岩根		滋賀県史跡、名勝、天然記念物調査報告概要 (P. 38)
202	記念物	史跡	岩根十二坊路			岩根	岩根山に十二の坊があったが信長の焼打ちにより、今は善水寺のみ残っている。	郷土の顔づくり NO. 2
203	記念物	史跡	正福寺遺跡			岩根	天平15年良弁創建と称す。	甲西町誌 (P. 88)、甲西の遺跡（目録）

204	記念物	史跡	丸保古墳群			岩根	石室が露出するまで削られており原形を復原するのは困難である。円墳2基、盛り土を伴うマウンドが2基確認されている。	甲西町誌（P. 88）、甲西路を行く（P. 19）、甲西の遺跡（目録, P. 31）、甲西の石造美術（P. 67）
205	記念物	史跡	観音寺遺跡			岩根	最明寺、時頼の創建である寺院の跡である。	甲西町誌（P. 88）、甲西の遺跡（目録, p. 11）
206	記念物	史跡	谷口春斎の墓	1		岩根	旧甲西町内で医人文人の一人と言われる谷口春斎の墓である。	甲西町の文学碑（P. 86）
207	記念物	史跡	清寿寺跡			岩根	庫裡が残っている。	甲西路をいく（P. 25）
208	記念物	史跡	朝国遺跡			岩根	墓跡	甲西の遺跡（目録）
209	記念物	史跡	岩根氏一族の墓	約 1 0		岩根	岩根氏は岩根の旧家である。	甲西の石造美術 (P. 54)
210	記念物	史跡	南三五郎の墓	1	寛文9年（1669年）	岩根		甲西の石造美術 (P. 55)
211	記念物	史跡	南三五郎の墓	1		岩根		甲西の石造美術 (P. 55)
212	記念物	史跡	藤谷弥八義民の墓	1		岩根	天保義民の一人である藤谷弥八の墓である。	甲西の石造美術 (P. 55)
213	記念物	史跡	古墳	1		岩根	「大龍王」をまつる小さな滝の手前にある。	甲西の石造美術 (P. 66)
214	記念物	名勝	百伝池（岩根池）			岩根	伝教大師が善水寺に來た時に百伝池の水を汲んで桓武天皇に献じたところ、天皇の病気が治ったという寺伝がある。この話から医王山善水寺と称されるようになったという。	甲西町誌（P. 442）
215	記念物	天然記念物	ペグマタイト			岩根	岩根地域の花崗岩中に含まれている。	琵琶湖博物館研究調査報告（P. 200付箋あり）、郷土の顔づくりNO. 2、甲西町誌（P. 36）
216	記念物	天然記念物	岩根山			岩根	甲賀山の岩根に属する部分である。その山中に「十二坊」の名があるが、もともと十二の僧坊がこの山中にあったことに由来する。	甲西町誌（P. 443）
217	記念物	天然記念物	榊岩	複数		岩根	この岩は岩根・朝国の用水路であり、榊形の穴を引用の標準としている。	甲西町誌（P. 445）
218	記念物	天然記念物	お迎えの松（夜明けの松）			岩根		甲西路をいく（P. 34）
219	記念物	天然記念物	鏡岩			岩根		甲西の石造美術 (P. 68)
220	記念物	天然記念物	サイコロ岩			岩根	かつては石部と水口町で見られた不思議な石である。	甲西の石造美術 (P. 68)
221	記念物	天然記念物	三本線の大きな石			岩根	大きな石に 3 本の線が入っている石である。	甲西の石造美術 (P. 69)
222	記念物	天然記念物	一本松			岩根		ももづてのさと (P. 233)
223	記念物	天然記念物	高師小僧			岩根	50 万年以前に湖南の地が琵琶湖の水底だったことを示すもので、水底に生えていた植物が永い年月により酸化したものである。	甲西路をいく（P. 73）
224	その他の文化財	伝承	かみなり岩（雷鳴岩）	1		岩根	最澄が7日間雨を祈ると、急に曇り出し、雷鳴しつゝ大雨が降ったという寺伝がある。そのため神幸岩と名づけられるも、後に岩の上に雷が落ちたことから、かみなり岩とよばれるようになった。	甲西町誌（P. 441）、ももづてのさと (P. 232)
225	その他の文化財	方言	岩根東の方言			岩根		ももづてのさと (P. 216)
226	その他の文化財	人物の功績に関するもの	砂防記念之碑	1	昭和4年（1929年）	岩根	岩根診療所の広場にある碑である。ハゲシバリ植栽の碑である。	滋賀県の近代化遺産（P. 250）、ふるさとのいしぶみ（P. 63）、甲西の石造美術（P. 17）、ももづてのさと (P. 100)、鈴木儀平の菩提寺歴史散歩（P. 153）
227	その他の文化財	人物の功績に関するもの	園善作氏の顕彰碑	1		岩根	ハゲシバリの苗木を研究し、村民の協力を得て山に緑を植えた人物の顕彰碑である。	甲西の石造美術（P. 17）

番号	文化財類型	種別	名称	員数	時代	地区	備考	出典
1	有形文化財	建造物	茶釜橋親柱（旧茶釜橋）	2		水戸	茶釜川にかつてあったと思われる橋の標柱である。	滋賀県の近代化遺産（P. 251）、ふるさとのいしぶみ（P. 127）、甲西の石造美術（P. 27）
2	有形文化財	歴史資料	校歌碑	1	昭和55年（1980年）	水戸		甲西町の文学碑（P. 104）、甲西の石造美術（P. 16）
3	有形文化財	歴史資料	石碑	1		水戸	「飛翔」という文字が刻まれている。	甲西の石造美術（P. 26）
4	有形文化財	歴史資料	六字名号碑	1		水戸		甲西の石造美術（P. 46）
5	有形文化財	歴史資料	六字名号碑	1	元禄15年（1702年）	水戸		甲西の石造美術（P. 46）
6	有形文化財	歴史資料	動物の碑	1		水戸		甲西の石造美術（P. 57）
7	民俗文化財	有形の民俗文化財	にぎり池の弁天さん			水戸		ももづてのさと（P. 232）
8	民俗文化財	有形の民俗文化財	地藏	1		水戸		ももづてのさと（P. 232）
9	民俗文化財	有形の民俗文化財	地藏	1		水戸		ももづてのさと（P. 232）
10	民俗文化財	無形の民俗文化財	団地祭り	1		水戸	昭和55年から開催されているこどものための祭りである。祭りの3か月前から大人みこし3基、子どもみこし3基が制作される。	水戸物語（P. 8）
11	民俗文化財	無形の民俗文化財	地藏盆	1		水戸	他の地域から譲ってもらった地藏を田代が池公園に安置したことから始まった祭りである。毎年8月に団地の夏祭りと合わせて行われる。	水戸物語（P. 8）
12	記念物	史跡	にぎり池	1		水戸	農業に利用された池である。下田や岩根の農家の人たちがこのにぎり池から田んぼに水を引いていた。	水戸物語（P. 1）

番号	文化財類型	種別	名称	員数	時代	地区	備考	出典
1	有形文化財	建造物	日枝太鼓橋	1	明治45年（1912年）	下田		滋賀県の近代化遺産（P. 250）
2	有形文化財	建造物	朝日橋	1	明治	下田		滋賀県の近代化遺産（P. 250）
3	有形文化財	建造物	下田公民館	1		下田		滋賀県の近代化遺産（P. 250）
4	有形文化財	建造物	町役場下田出張所（旧下田小学校）	1	明治23年（1890年）	下田		滋賀県の近代化遺産（P. 250）
5	有形文化財	建造物	東橋	1	明治	下田		滋賀県の近代化遺産（P. 250）
6	有形文化財	建造物	太鼓橋		弘化2年（1846年）	下田	小さな橋である。	甲西路をいく（P. 59）
7	有形文化財	建造物	鳥居	1	文政12年（1829年）	下田		しもだ六百年（P. 78）
8	有形文化財	建造物	日枝神社			下田		改訂　湖南市都市計画マスタープラン（P. 86）
9	有形文化財	建造物	ゑびす橋の石柱	3		下田	ゑびす橋の名残りの石柱が残っている。「蛭子橋」、「ゑびす橋」、「昭和十年三月」と彫っているものの3つがある。	甲西の石造美術（P. 27）
10	有形文化財	彫刻	記念碑		昭和48年（1973年）	下田	かけっこの丘に建てられた子ども2人と先生1人の像である。	甲西路をいく（P. 77）
11	有形文化財	彫刻	小仏群			下田		甲西の石造美術（P. 38）
12	有形文化財	工芸品	釣鐘	1	寛延2年（1749年）	下田		甲西町誌（P. 375）、しもだ六百年（P. 86）
13	有形文化財	書跡	棟札文		寛文12年（1672年）	下田		甲西町誌（P. 360）
14	有形文化財	書跡	額面	2		下田	一つは天保4年（1833）6月26日有栖川宮韶仁親王染筆「山王十禪師」の額で、もう一つは明治31年1月28日有栖川宮威仁親王染筆「日枝神社」の額である。	甲西町誌（P. 360）
15	有形文化財	書跡	広幡胤定の和歌その他扁額			下田		甲西町誌（P. 375）
16	有形文化財	古文書	伊達政宗の書簡			下田	「六月十四日松陸奥守薫老」の署名がある。	甲西町誌（P. 375）
17	有形文化財	歴史資料	顕顕碑	3		下田	谷村五三郎氏、植西源八氏、上西任三郎氏の顕彰碑が3つ並んでいる。	滋賀県の近代化遺産（P. 250）、ふるさとのいしぶみ（P. 108～115）、甲西の石造美術（P. 18）
18	有形文化財	歴史資料	学校林の碑	1	明治31年（1898年）	下田		滋賀県の近代化遺産（P. 250）、ふるさとのいしぶみ（P. 119）、甲西の石造美術（P. 27）
19	有形文化財	歴史資料	下田村野外運動場の碑	1	大正12年（1923年）	下田		滋賀県の近代化遺産（P. 250）、ふるさとのいしぶみ（P. 121）、甲西の石造美術（P. 27）
20	有形文化財	歴史資料	谷口亀鏡翁顕彰碑	1	明治21年（1888年）	下田	谷口亀之進氏の顕彰碑である。	滋賀県の近代化遺産（P. 250）、ふるさとのいしぶみ（P. 116）、甲西の石造美術（P. 19）
21	有形文化財	歴史資料	忠魂碑	1	大正4年（1915年）	下田		滋賀県の近代化遺産（P. 250）
22	有形文化財	歴史資料	御眞影奉安庫の碑	1	大正15年（1926年）	下田	天皇のご真影をしまった小さな庫の碑である。	滋賀県の近代化遺産（P. 250）、ふるさとのいしぶみ（P. 123）、甲西の石造美術（P. 27）
23	有形文化財	歴史資料	芭蕉句碑	1		下田		ふるさとのいしぶみ（P. 106）、甲西町の文学碑（P. 106）
24	有形文化財	歴史資料	墓石群	複数		下田		わがまちの文化財（P. 179）
25	有形文化財	歴史資料	校歌碑	1	昭和58年（1983年）	下田		甲西町の文学碑（P. 110）
26	有形文化財	歴史資料	日枝神社句碑	1		下田	明治37～8年にかけて出征した軍人の心の句である。	甲西町の文学碑（P. 112）
27	有形文化財	歴史資料	丹頂園の句碑	5	昭和42年（1967年）（一茶の句碑）	下田	一茶の句碑、琵琶湖大橋をかけた知事（如水）の句碑、方堂の句碑、清月の句碑、丹頂林幽梅の句碑がある。 方堂の句碑：琵琶湖大橋をかけた知事（如水）の句碑と並んでいる。 清月の句碑：清月は今越清三郎翁の雅号である。今越清三郎翁は下田金箔の金箔職人であった	一茶の句碑：甲西町の文学碑（P. 116）、甲西路に行く（P. 87） 琵琶湖大橋をかけた知事（如水）の句碑：甲西町の文学碑（P. 120）、甲西路に行く（P. 89）、甲西の石造美術（P. 14） 方堂の句碑：甲西路に行く（P. 89）甲西町の文学碑（P. 122）、甲西の石造美術（P. 15） 清月の句碑：甲西町の文学碑（P. 128）、甲西路に行く（P. 89）、甲西の石造美術（P. 14） 丹頂林幽梅の句碑：甲西町の文学碑（P. 124）、甲西路に行く（P. 87）
28	有形文化財	歴史資料	神饌献穀田の記念碑	1		下田	以前は高松にあったが、現在地に移された。	甲西の石造美術（P. 12）
29	有形文化財	歴史資料	石碑	1		下田	下田小学校校舎の前に造られた庭の名称「大成の庭」が刻まれた碑である。	甲西の石造美術（P. 25）
30	有形文化財	歴史資料	六字名号碑	2		下田		甲西の石造美術（P. 49）
31	有形文化財	歴史資料	門柱石			下田	下田小学校創立当時の門柱石である。「甲西町立下田小学校」と板に書かれた門標がはめ込まれている。	甲西の石造美術（P. 62）
32	有形文化財	歴史資料	芭蕉句碑		平成	下田		淡海の芭蕉句碑上（P. 59）
33	有形文化財	歴史資料	校歌碑	1	昭和58年（1983年）	下田		甲西町の文学碑（P. 102）、甲西の石造美術（P. 16）
34	有形文化財	歴史資料	石碑	1		下田	生徒の目指すべき理想像である「知　情　意　体」の四か条が刻まれている。	甲西の石造美術（P. 26）
35	有形文化財	歴史資料	校歌の彫刻		昭和45年（1970年）	下田		甲西路をいく（P. 78）
36	民俗文化財	有形の民俗文化財	下田焼登釜	1	平成6年（1994年）	下田	明治初期には14基（5軒）の瓦製造業が存在。明治中期～昭和初期には1軒のみ、平成元年に廃業となった。 平成6年、甲西町伝統工芸会館の開館とともに、再興。	滋賀県の近代化遺産（P. 83）

37	民俗文化財	有形の民俗文化財	道標	3		下田	1つ目は「右舊 左新 下田道」と刻まれている。2つ目は「右志からき ミな くち」「左ばんのたに てん志ん」と刻まれている。3つ目は「右石部 三雲 左 水口 山村」「左日野 八日市」と刻まれている。	わがまちの文化財（P.180）、甲西の石造美術（P.9）
38	民俗文化財	無形の民俗文化財	雑煮			下田	丸餅を使用し、揚げとネギの他、かしわとネギ、牛肉とネギ、はと肉とネギといった組み合わせで作る。	滋賀県伝統食文化調査（P.169）
39	民俗文化財	無形の民俗文化財	かご破り			下田	1番茶、2番茶、3番茶のそれぞれの終了時に茶摘みの人を、かしわと野菜などの煮物でもてなした。	滋賀県伝統食文化調査（P.170）
40	民俗文化財	無形の民俗文化財	うさぎ汁			下田	秋の行事で小学校4年生以上の子供たちによるうさぎ追いの後に作られ、子供たちにふるまわれた。	滋賀県伝統食文化調査（P.172）
41	民俗文化財	無形の民俗文化財	イリコ			下田	はったい粉のことで、紙に包んでおやつとして食べた。	滋賀県伝統食文化調査（P.173）、ももづてのさと（P.215）
42	民俗文化財	無形の民俗文化財	フナヤキ			下田	ユリゴの粉に炒った大豆、水、砂糖、塩を入れて混ぜ、ほうらくで焼く等。	滋賀県伝統食文化調査（P.173）
43	民俗文化財	無形の民俗文化財	ジョウセン			下田	もち米を原料に夏菓子として作られる、下田特産の堅飴のことである。	滋賀県伝統食文化調査（P.173）
44	民俗文化財	無形の民俗文化財	いもあめ			下田	さつまいもと大麦のもやしで作る飴である。昔はどこの家でもよく作った。	滋賀県伝統食文化調査（P.173）
45	民俗文化財	無形の民俗文化財	両墓制			下田	埋め墓（さんまい）、詣り墓（ねがい寺の境内墓地）の2つがある。	甲西町誌（P.514）
46	民俗文化財	無形の民俗文化財	おひねり			下田	初詣後の回礼に「おひねり」を持って歩き、各訪問先に年始受けに置いた。	甲西町誌（P.584）、しもだ六百年（P.155）
47	民俗文化財	無形の民俗文化財	御田植踊り/日枝神社大祭（5月1日）		昭和9年開始	下田		しもだ六百年（P.80）
48	民俗文化財	無形の民俗文化財	相撲大会		明治時代開始	下田	以前は5月1日の日枝神社大祭にて青年団による相撲大会が行われていたが、現在は9月15日の秋祭りに小学生の奉納相撲となって行われている。	しもだ六百年（P.80）
49	民俗文化財	無形の民俗文化財	正藍染		明和年間	下田	明和年間に紺屋政平が京都で染色技術を伝授され、阿波特産の葉藍を原料として紺染業を始めた。	しもだ六百年（P.122）
50	民俗文化財	無形の民俗文化財	やまじょうの漬物		昭和初期	下田	下田特産の漬物である。	しもだ六百年（P.125）
51	民俗文化財	無形の民俗文化財	最中種		大正始め	下田	下田の伝統菓子である。最中の皮や種菓子とと呼ばれている。	しもだ六百年（P.128）
52	民俗文化財	無形の民俗文化財	同年会			下田	成人、厄年などを共にする者の集まりである。	しもだ六百年（P.156）
53	民俗文化財	無形の民俗文化財	姉婿さん			下田	家で何か行事がある場合は主座を務める。	しもだ六百年（P.156）
54	民俗文化財	無形の民俗文化財	財産分け			下田	親の残した財産は、男兄弟で均等に分ける。女姉妹は嫁入り時に、男兄弟の相続に比べた応分の支度をしてもらう。	しもだ六百年（P.157）
55	民俗文化財	無形の民俗文化財	ハッソ 末っ子の嫁入り（方言劇）			下田		しもだ六百年（P.160）
56	民俗文化財	無形の民俗文化財	地搦歌			下田		しもだ六百年（P.172）
57	民俗文化財	無形の民俗文化財	草取歌			下田		しもだ六百年（P.172）
58	民俗文化財	無形の民俗文化財	傘縫い歌			下田		しもだ六百年（P.172）
59	民俗文化財	無形の民俗文化財	白摺歌（粃すり歌）			下田		しもだ六百年（P.173）
60	民俗文化財	無形の民俗文化財	お目出度節（宴会歌）			下田		しもだ六百年（P.173）
61	民俗文化財	無形の民俗文化財	シヨガイナ節（盆踊り歌）			下田		しもだ六百年（P.174）
62	民俗文化財	無形の民俗文化財	たいろくねんね/わらべ歌			下田		しもだ六百年（P.174）
63	民俗文化財	無形の民俗文化財	手まりつき唄			下田		しもだ六百年（P.175）
64	民俗文化財	無形の民俗文化財	縄跳び唄			下田		しもだ六百年（P.175）
65	民俗文化財	無形の民俗文化財	下田の竹皮細工			下田		湖南地方の文化財
66	記念物	史跡	下田城跡			下田	現況は丘陵の畑地や寺地となっている。城主は不明である。	近江の城37-06（地図）、淡海の城（37/近江城郭探訪差し込み資料より）、甲西の遺跡（目録）

番号	文化財類型	種別	名称	員数	時代	地区	備考	出典
1	有形文化財	建造物	中郡橋	1	昭和11年（1936年）	石部・菩提寺	井上嘉吉氏が橋をかける契機として、明治35年に自費で野洲川に渡し舟を作った。	滋賀県の近代化遺産（P. 250）、鈴木儀平の菩提寺歴史散歩（P. 177）
2	有形文化財	建造物	石部頭首工	1	昭和29年（1954年）	石部・菩提寺	町の中心部から放流された水が地下を流れている伏流水になる前に、ここでせき止めた水を水路に流して灌漑用水として利用することを目的に建設された堰堤である。	滋賀県の近代化遺産（P. 27、250）、鈴木儀平の菩提寺歴史散歩（P. 182）
3	有形文化財	彫刻	等身大の地藏尊	6	500年以上前	菩提寺・三雲		わがまちの文化財（P. 156）、菩提寺アンケート_チェック入りpdf（P3）
4	有形文化財	歴史資料	弔魂碑		昭和	三雲・下田	三雲学区（由良谷）、旧下田村にある。	甲西町誌（P. 468）、甲西の石造美術（P. 41）
5	有形文化財	歴史資料	徳本上人名号碑	3	天保2年（1831年）	三雲・岩根		わがまちの文化財（P. 28、140）、甲西の石造美術（P. 47）
6	民俗文化財	無形の民俗文化財	おこない			三雲・岩根・菩提寺	神社の祭典として行っている地域と民俗信仰として行っている地域がある。	滋賀県の祭礼行事（P. 62）、甲西町誌（P. 585）
7	民俗文化財	無形の民俗文化財	山の神講			三雲・岩根	山の仕事や田の仕事等、農林業にかかわりがある行事である。地域によって内容は異なっている。	甲西町誌（P. 597）
8	民俗文化財	無形の民俗文化財	若水むかえ（正月）			旧甲西町	年男の仕事とされていたが、今はどこの家でも当主が行う。新調した手桶とヒシャクに水をくむことを正則とする。若水は大切に扱われ、神前、年神、仏前、祖先に正月の祝饌とともに献上され、家族一同祝いの膳につき、屠蘇、雑煮を祝う。	甲西町誌（P. 584）
9	民俗文化財	無形の民俗文化財	草刈り歌			旧甲西町		甲西町誌（P. 591）
10	民俗文化財	無形の民俗文化財	神送り（10月）			旧甲西町	神嘗祭の23日が済むと神送りを行う。	甲西町誌（P. 595）
11	民俗文化財	無形の民俗文化財	大根のとしとり（10月）			旧甲西町	10月10日の十夜まで大根を抜いてはいけないという人がいる。	甲西町誌（P. 595）
12	民俗文化財	無形の民俗文化財	石部いさめ踊り		鎌倉後期～江戸時代はじめ	旧石部町	農村の奉納唄で、豊作祈願を中心に唄った組唄という。	石部の民謡（P. 3）、石部の伝承（P76）
13	民俗文化財	無形の民俗文化財	石部小唄			旧石部町		石部の民謡（P. 10）、石部の伝承（P. 92）
14	民俗文化財	無形の民俗文化財	豆講			旧石部町	親睦会の小グループのことである。	湖南に生きる 輝き続ける女性たち（P. 155）
15	記念物	史跡	東海道			石部～三雲		改訂 湖南市都市計画マスタープラン（P. 70）

番号	文化財類型	種別	名称	員数	時代	地区	備考	出典
1	有形文化財	絵画	安藤広重 画「石部宿」		江戸時代		資料館保管のもの	石部町の100年史（P. 14）
2	有形文化財	絵画	歌川広重 画「東海道五十三次 石部」		江戸時代		資料館保管のもの	石部町の100年史（P. 14）
3	有形文化財	絵画	歌川國芳 画「東海道五十三對」		江戸時代		資料館保管のもの	石部町の100年史（P. 15）
4	有形文化財	絵画	初代廣重・三代豊國 画「双筆 五十三次」		江戸時代		資料館保管のもの	石部町の100年史（P. 15）
5	有形文化財	歴史資料	江畠甲賀郡石部村御検地帳	1	慶長 7 年（1602年）		湖南省蔵	新修石部町史 通史編(P. 273)
6	有形文化財	歴史資料	失人名 寄帳	1	享保 4 年（1719年）		湖南省蔵	新修石部町史 通史編(P. 324)
7	有形文化財	歴史資料	石部植田名 寄帳	1	貞享 4 年（1687年）		湖南省蔵	新修石部町史 通史編(P. 366)
8	有形文化財	歴史資料	石部町是		明治43年（1910年）			石部町のあゆみ(P. 45)
9	民俗文化財	有形の民俗文化財	神風講社行李	1			神風講指定の旅籠に置かれていたと思われる行李である。 湖南省蔵。	新修石部町史 通史編(P. 389)

番号	文化財類型	種別	名称	員数	時代	地区	備考	出典
1	有形文化財	彫刻	木造地藏菩薩坐像	1	鎌倉時代		入島寺とあるが、市内に存在しない。不明。	湖南地方の文化財No2(P. 101)
2	有形文化財	典籍	絵入百足再来記 上下巻	1式	嘉永4年（1851年）		天保一揆の記録である。	近江天保一揆とその時代（P. 41）
3	有形文化財	歴史資料	六字名号碑	1			青木氏墓地の名号碑。	甲西の石造美術（P. 49）
4	民俗文化財	有形の民俗文化財	田川の合宿茶所の石標					甲西町誌（P. 126）
5	有形文化財	絵画	天帝掛軸				庚申待ちに使われた。	甲西町誌（P. 501）
6	記念物	史跡	石部遺跡				石斧、石鍬が出土している。	石部町のあゆみ(P. 9)
7	記念物	史跡	若宮八幡宮跡				仁徳天皇を祭る。領主青木氏の氏神であった。	甲西町誌（P. 340）
8	記念物	天然記念物	カラスビシャク（7月/半夏）				カラスビシャクは毒草が生え土が濁り、天からも毒気が降るので井戸に蓋をした。また毒で濁るので野菜は食べてはいけなかった。 (そのため遅くとも半夏生までに田植えをおこなわないとならなかった)	甲西町誌(P. 591)